

令和元年度 徳山高専学校要覧

College Bulletin 2019

緑あふれる環境の中で、知性を育み、感性を磨く

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokuyama College

目次

Table of Contents

校長挨拶	Message from the President	2
建学の理念	The Founding Ideal of Tokuyama College	3
沿革	History	4
学校行事	College Calendar	5
学校組織	College Organization	6
1) 学科及び学生定員	Departments and Quota	6
2) 専攻科及び学生定員	Advanced Course and Quota	6
3) 教職員現員	Present Number of Staff	6
4) 役職者名	Administrative Staff	6
5) 組織図	Organization Chart	7
6) 各種委員会	Committees	7
教育体制	Educational System	8
育成しようとする技術者像	Our Vision of the “Ideal Engineer” at Tokuyama College	9
学習・教育目標	Educational Goal	10
具体的到達目標	Concrete Goals for the Students to Achieve	11
三つのポリシー	Policy	12
各学科／専攻で修得する技術	Technological Skills the Students Are Required to Master	14
教育プログラム	Engineering Education Program	15
機械電気工学科	Dept.of Mechanical and Electrical Engineering	16
情報電子工学科	Dept.of Computer Science and Electronic Engineering	20
土木建築工学科	Dept.of Civil Engineering and Architecture	24
一般科目	Liberal Arts Division	28
専攻科	Advanced Courses	30
機械制御工学専攻	Mechanical and Control Engineering Course	33
情報電子工学専攻	Computer Science and Electronic Engineering Course	34
環境建設工学専攻	Environmental and Civil Engineering Course	35
図書館	Library	36
情報処理センター	Information Processing Center	37
テクノ・リフレッシュ教育センター	Center for Collaborative Research and Education	38
教員のFD活動	Faculty Development	39
教員の研究活動	Research Activities	40
1) 科学研究費助成事業申請状況	Number of Applicants Scientific Research	40
2) 科学研究費助成事業採択状況	Grant-in-Aid for Scientific Research	40
3) 寄附金受入状況	The Amount of Donations Received	40
4) 共同研究受入状況	Joint Research with Private Enterprises	40
社会との連携	Cooperation with Society	41
1) 徳山高専テクノ・アカデミア事業	What the Techno Academia Has Done with or for Local Companies	41
2) 公開講座等	Extension Courses	41
3) 夏休みジュニア科学教室	Science Courses Offered for Children during Summer Vacation	42
4) 地域からの依頼による工作教室等	Science and Engineering Classes Offered for the Local Communities	42
5) 公的な機関からの依頼による各種委員等	Committee Member Posts Appointed by Public Organizations	43
学生	Students Statistics / Financial Information	44
1) 学科定員及び現員	Quota and Enrollment in Departments	44
2) 専攻科定員及び現員	Quota and Enrollment in Advanced Course	44
3) 学科別入学志願者状況	Number of Applicants in Departments	44
4) 専攻別入学志願者状況	Number of Applicants in Advanced Course	44
5) 本科出身地別在学学生数	Hometown Classification of Students	45
6) 修学経費	Educational Cost	45
7) 高等学校等就学支援金制度	High school Tuition Support Fund System	45
8) 奨学制度	Scholarships	45
9) 授業料減免制度	Reduction of the Tuition Fee System	45
外部からの学生の受け入れ	Acceptance of Foreign Students and Transferees	46
1) 外国人留学生及び編入学生	Foreign Students and Transferees	46
2) 編入学生志願状況	Number of Applicants of Transfer	46
3) 研究生及び聴講生制度	Research Students and Auditors	46
国際交流	International Exchange	47
学寮	Dormitory	48
学生会	Student Council	49
就職・進学状況	Employment and Entering to Universities	50
1) 求人及び進路状況	Job offers and Classification of Graduates	50
2) 就職先	Employment	50
3) 進学（編入学）状況	Entrance to Universities	50
4) 職種・就職先地域	Job Classification and The Area of the Employment	51
配置図	Campus Map	52
施設の概況	Facility Information	53
学校所在地	Location Map	54
周南市の紹介	Guide to Shunan City	55

徳山工業高等専門学校校歌

作詞 上野五郎
作曲 岡田昌大

一、みどりさす 高城の丘
まなびやは ひかりあふれて
やまなみに ひびくこだまは
徳山高専 健児らのうた
われら ここにつどいて
五年のいのち 燃やさん

二、みはるかす 太華の麓
瀬戸内の 霧は晴れゆき
ものつくる いぶきは満ちぬ
徳山高専 健児は誓う
われら ここに学びて
工の道を 究めん

三、ゆたかなる 周防の山河
若人の 胸をよぎるは
ちちはの 遠き歴史ぞ
徳山高専 健児は仰ぐ
われら ここに羽ばたき
たくましく 明日を担わん



校章 College Emblem

本校の校章は、学校の所在地山口県徳山市(現在の周南市)の市章を基盤に、高専の文字を配して図案化したものです。翼にのってどこまでも飛躍と向上を求める青年学徒の理想を示しています。



ロゴマーク

建学の理念にある「信頼」をイメージする青を使用し、徳山高専の頭文字「t」と「c」でレイアウトした、堅苦しくなく、ポップで視認性の良いシンボルマークです。



徳山高専
National Institute of Technology,
Tokuyama College

小文字で表した「t」は、徳山高専で培った複合技術と高度なりテラシーを生かして、様々なフィールドで技術的な課題を解決し、新たな価値を創造する人材へ成長し続けていくという意味で、「+」(プラス)マークにも見えるようデザインしました。

学生一人ひとりが、技術者として必要な素養となる、次に表す5つの「c」を意識し、未来に向かって挑戦し、社会のために役立つ人材に成長してほしいという願いが込められています。

- ①Creation「創造」 ②Challenge「挑戦」 ③Cooperation「協働」
- ④Communication「コミュニケーション」 ⑤Critical thinking「批判的思考」

スクールカラー Symbol Color

本校のスクールカラーは、本校校旗の地の色である「深緋色」です。



学科等カラー

平成26年には、各学科等のカラーを制定しました。機械電気工学科は「オレンジ」、情報電子工学科は「青」、土木建築工学科は「イエローグリーン」、一般科目は「珊瑚色」です。



設置学科

【本科】定員120名(修業年限5年)

機械電気工学科
情報電子工学科
土木建築工学科

【専攻科】定員12名(修業年限2年)

機械制御工学専攻
情報電子工学専攻
環境建設工学専攻

卒業生数

機械電気工学科	1,582名(28名)
情報電子工学科	1,600名(431名)
土木建築工学科	1,603名(379名)
合計	4,785名(838名)
	()は女子内数

修了者数

機械制御工学専攻	151名(0名)
情報電子工学専攻	125名(17名)
環境建設工学専攻	240名(47名)
合計	516名(64名)
	()は女子内数

平成31年3月31日現在

校長 工学博士
President Dr.Eng

勇 秀憲
ISAMI Hidenori



徳山工業高等専門学校は、1960年代からの我が国の高度経済成長と工業化に伴う社会の強い要望により、関連専門分野の複合知識や技術を修得できる全国で希有な高等教育機関として、1974年に徳山市（現在の周南市）に設立されました。中学校から入学する本科（5年制）は、機械電気工学科、情報電子工学科と土木建築工学科の3つの複合学科から構成されています。さらに1995年には、より高度な専門知識・技術や開発力などを修得できる専攻科（2年制）を3複合専攻（機械制御工学専攻、情報電子工学専攻と環境建設工学専攻）を本科の上に設置しました。

2019年には本科創立45周年を迎えます。本校では、5年間や7年間一貫によるきめ細かな講義、演習、実験・実習や課題発見・解決型授業などにより、6つの複合専門分野の基礎から応用までの知識や技術などに基づく実践力、創造力やコミュニケーション力などを身につけることができます。本校の本科卒業生と専攻科修了生を『世界に通用する実践力のある開発型技術者』として地域や国内外へ送り出し、産業や専門技術の発展に大きく貢献しています。就職だけでなく、本科卒業後は専攻科進学や大学編入学、専攻科修了後は大学院進学などへのより高度な教育研究への進路も開けています。

これから子どもたちが活躍する社会は、少子高齢化、人口減少、グローバル化の進展や技術革新などにより社会や職業のあり方が大きく変化する不透明な時代になると想定されています。こうした時代を生き抜き、高い志と意欲や夢を持つ人（ひと）として主体的に周囲の多様な人たちと協働して新しい価値を創造することができるように、「教員が学生に教える」ことから、学生が「何ができるようになったか」「何を学んだか」への教育改革が、日本の教育界全体で急速に進んでいます。

本校では、教育の質保証を強化するため、文部科学省大学教育再生加速プログラム（AP事業-テーマV）に高専で唯一採択され（2016～2019年度の4年間）、地域と密着し高い倫理観に裏付けられた技術者教育を可視化する事業を進めています。その中で、卒業時にどんな知識・スキルや能力が修得できたのかを、卒業・修了認定の基本方針（ディプロマ・ポリシー）として定めています：①基本的能力（工学の基礎知識・スキル）、②専門的能力（複合分野の専門知識・スキル）、③汎用的技能（課題発見・解決、合意形成、コミュニケーションスキルなど）、④人間力（自己管理能力、責任感、チームワーク、リーダーシップなど）、⑤創造的思考力（知識・スキルを活用・統合し創成する能力）、⑥異文化対応力、⑦倫理的判断力。これらの知識・スキルや能力を学修成果として見える化した資料（ディプロマ・サプリメント）により提示することで、高専教育と社会が繋がる仕組みを構築しています。また、多様な異文化理解のもとで、特に英語による英語授業や専門授業を通して、地域に繋がるグローバル化に対応する高度な専門知識や課題発見・解決力を育成する事業も進めています。

他高専を先導したこれらの事業を活用して、教職員と学生、保護者の皆様が一体となって、学生が楽しく「学べ」、活発な課外活動や学生会活動などができる学校環境をさらに整えていきます。



技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育くみ、
広く社会の安全と人々の幸福に寄与する

To foster “individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others”, and to contribute to a more stable society and universal happiness.

徳山高専は、創設時に初代校長城温三先生が示された「技術を愛する人物、信頼される人物」の育成を教育の目標としてきた。以来、本校は全人教育の上に立った創造的技術者の育成を目指し、広く社会のために役立つ有為な人材を送り出すよう努力を重ねてきた。創設40周年を迎えた平成26年3月、本校はこの受け継がれてきた精神を「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育くみ、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」と表記し、建学の理念として定めた。

(題字は、さかもときょうえん坂本 杏苑氏の書による)

The educational purpose of Tokuyama college is to foster “individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others”, which was advocated by the first president of Tokuyama college, Onzo Jyo .

In order to realize this educational purpose, we have made every effort to nurture creative engineers, launching promising graduates into society.

To mark the 40th anniversary of the founding of the school in March 2014, the following ideal was established: “We seek to foster individuals who will be able to not only pursue technology but also gain the trust of others, and contribute to a more stable society and universal happiness”.

(masthead written by Kyoen Sakamoto)

徳山工業高等専門学校は、時代の強い要望により、昭和49年6月に設立された国立工業高専です。学科は、機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科の3学科と専攻科は機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻の3専攻より成り、それぞれの境界領域を含めた専門分野において基礎理論の習熟とともに実験実習に重点をおいた教育を行い、総合判断力に優れた実践力のある開発型技術者の育成をめざしています。

National Institute of Technology, Tokuyama College was founded in 1974. It consists of three departments - Mechanical and Electrical Engineering, Computer Science and Electronic Engineering, Civil Engineering and Architecture and three advanced courses-Mechanical and Control Engineering Course, Computer Science and Electronic Engineering Course, Environmental and Civil Engineering Course.

In 1995 advanced courses were added to meet today's demand in research and development.

- 昭和48年12月29日 徳山工業高等専門学校（機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科各40名）創設が閣議決定
- 昭和49年5月8日 仮校舎を旧富岡小学校跡（旧徳山市大字下上）、仮寄宿舎を旧加見小学校跡（旧徳山市大字上村）に開設
- 6月7日 国立学校設置法の一部改正公布に伴い開校決定。初代校長 城温三（前山口大学工学部教授）就任
- 6月15日 第1回入学式挙行
- 昭和50年3月28日 第1期工事竣工
- 4月1日 学校所在地（旧徳山市久米高城3538）に移転
- 昭和51年3月27日 第2期工事竣工
- 昭和52年3月31日 陸上競技場、野球場が竣工
- 4月1日 事務に部制がしかれ、3課（庶務課、会計課、学生課）を設置
- 昭和57年3月31日 福利厚生施設、柔道場が竣工
- 昭和58年3月30日 第2体育館、合宿研修施設が竣工
- 4月8日 研究生の受け入れを開始
- 昭和60年4月8日 編入学生の受け入れを開始
- 昭和61年4月8日 聴講生の受け入れを開始
- 昭和62年4月1日 外国人留学生の受け入れを開始
- 4月10日 1、2年の混合学級の制度を開始
- 平成3年3月12日 男子寄宿舎の一部を改修、女子寄宿舎を設置
- 10月1日 地域協力開発センター発足
- 平成4年4月1日 学校週5日制を開始
- 平成6年3月25日 男子寄宿舎の一部を改修、女子寄宿舎を増設
- 4月7日 地域協力開発センターに代わり、テクノ・リフレッシュ教育センター発足
- 11月4日 テクノ・リフレッシュ教育センター竣工
- 平成7年4月1日 専攻科（機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻各4名）設置
- 平成9年3月28日 専攻科棟竣工
- 12月6日 徳山高専テクノ・アカデミア発足
- 平成11年7月31日 視聴覚棟（メディアホール）竣工
- 平成16年4月1日 独立行政法人国立高等専門学校機構として発足
- 5月10日 日本技術者教育認定機構（JABEE）から、「設計情報工学」プログラムが工学（融合複合・新領域）関連分野に認定
- 6月19日 創立30周年記念式典挙行
- 平成18年10月2日 住所表示が「周南市学園台」に変更
- 平成19年3月28日 大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価に認定
- 4月1日 事務部が、2課制（総務課、学生課）に再編成
- 12月1日 徳山高専テクノ・アカデミア創立10周年記念行事挙行
- 平成21年4月5日 2年生混合学級廃止
- 4月23日 日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
- 平成24年4月27日 日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
- 平成25年3月27日 大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定が継続
- 平成26年9月26日 創立40周年記念式典挙行
- 平成27年3月9日 日本技術者教育認定機構（JABEE）「設計情報工学」プログラムの認定が継続
- 4月1日 大学評価・学位授与機構による専攻科の学士の学位の授与に係る特例の適用が認定

学校行事

College Calendar

学年は前期と後期の2学期制です。

The academic year is divided into two semesters.

平成31年(令和元年) 2019

前期 First Semester

4月1日～2日	春季休業	April	Spring Vacation
4月3日	第46回入学式・第25回専攻科入学式		Entrance Ceremony
4月4日	始業		Opening of First Semester
4月12日～13日	1年生合宿研修		Freshmen's Orientation Days
4月17日	クラスマッチ		Spring Field Day
6月5日～11日	前期中間試験	June	Midterm Examinations
6月7日	開校記念日		School's Anniversary
7月5日～7日	中国地区高専体育大会 (広島高専、津山高専、呉高専)	July	Chugoku District Intercollegiate Sports Competition
7月8日	臨時休業		Holiday
8月2日～9日	前期末試験	August	Term End Examinations
8月10日～9月23日	夏季休業		Summer Vacation
8月17日～9月1日	全国高専体育大会(大島商船高専、広島商船高専)		National Intercollegiate Sports Competition

後期 Second Semester

10月1日	後期開始	October	Opening of the Second Semester
10月13日～14日	全国高専プログラミングコンテスト(都城高専)		National Intercollegiate Programming Contest
10月16日	クラスマッチ		Autumn Field Day
10月27日	高専ロボコン 中国地区大会(宇部高専)		Chugoku District Intercollegiate Robot Contest
11月2日～3日	高専祭	November	College Festival
11月27日～12月3日	後期中間試験		Midterm Examinations
12月7日	GTEC・TOEIC IP テスト	December	GTEC・TOEIC IP TEST
12月7日～8日	全国高専デザインコンペティション(産技高専品川)		National Intercollegiate Design Competition
12月27日～1月5日	冬季休業		Winter Vacation
令和2年 2020			
2月5日～13日	後期末試験	February	Term End Examinations
2月17日	臨時休業		Holiday
2月21日	終業		Closing of Second Semester
2月22日～3月31日	学年末休業		Year End Vacation
3月18日	第42回卒業式・第24回専攻科修了式	March	Graduation Ceremony

(1) 学科及び学生定員 Departments and Quota

学科名 Department	入学定員 Quota	学生定員 Total
機械電気工学科 Department of Mechanical and Electrical Engineering	40	200
情報電子工学科 Department of Computer Science and Electronic Engineering	40	200
土木建築工学科 Department of Civil Engineering and Architecture	40	200
計 Total	120	600

(2) 専攻科及び学生定員 Advanced Course and Quota

専攻名 Course	入学定員 Quota	学生定員 Total
機械制御工学専攻 Mechanical and Control Engineering Course	4	8
情報電子工学専攻 Computer Science and Electronic Engineering Course	4	8
環境建設工学専攻 Environmental and Civil Engineering Course	4	8
計 Total	12	24

(3) 教職員現員 Present Number of Staff

平成31年4月1日現在
As of Apr. 1. 2019

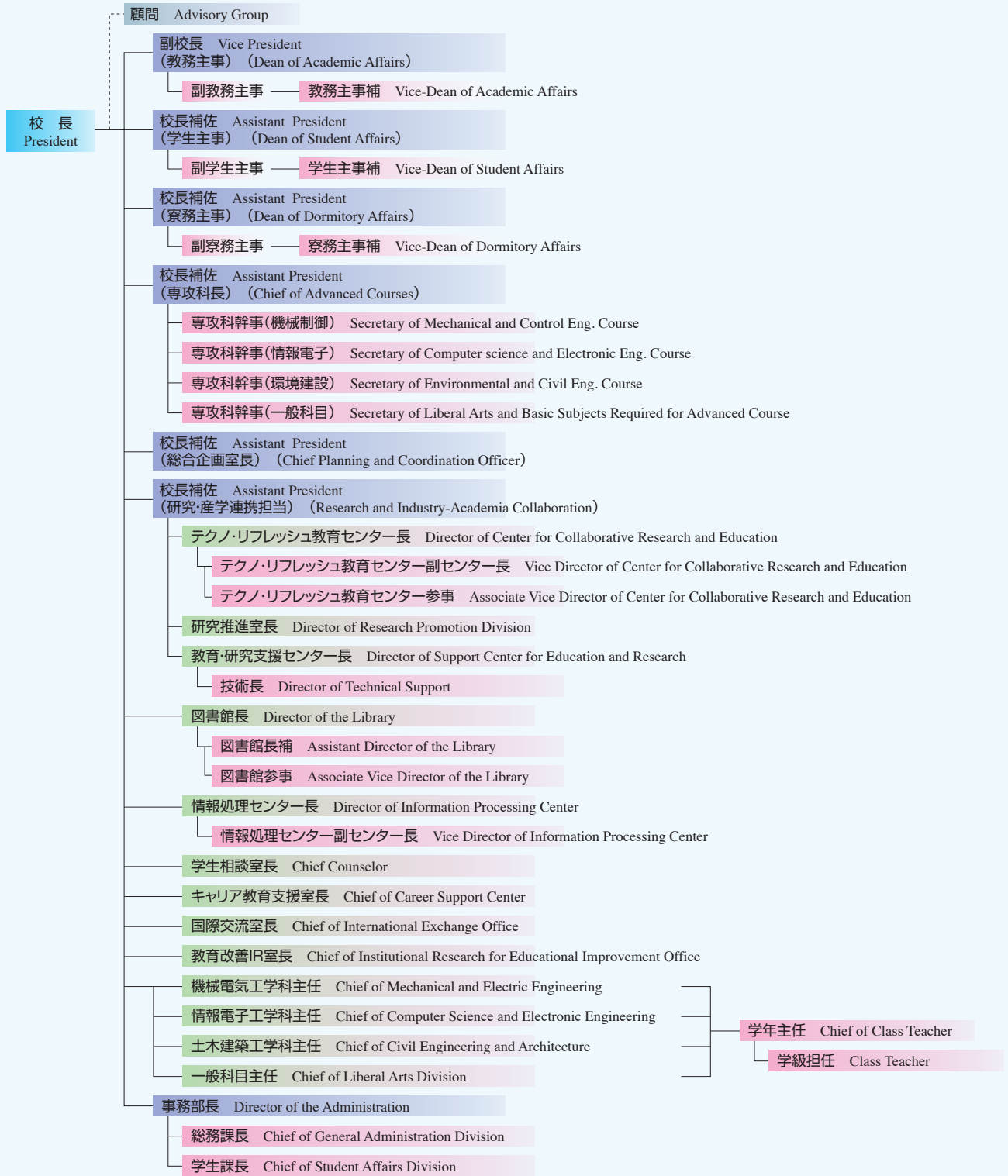
区分 Classification	教育職員 Academic Staff								技術職員 Technical Staff	事務職員 Administrative Staff	合計 Total
	校長 President	教授 Professor	嘱託教授 Professor on a short-term contact	特命教授 A Specially Appointed Professor	准教授 Associate Professor	特命准教授 A Specially Appointed Associate Professor	講師 Lecture	助教 Assistant Professor			
現員 Present Number	1	21	6	2	23	1	1	10	13	51	129

(4) 役職者名 Administrative Staff

平成31年4月1日現在
As of Apr. 1. 2019

校長 President 勇 秀 憲 ISAMI, Hidenori	学生相談室長 Chief Counselor 原 田 徳 彦 HARADA, Norihiko
副校長(教務主事) Vice President (Dean of Academic Affairs) 天 内 和 人 AMANAI, Kazuhito	キャリア教育支援室長 Chief of Career Support Center 中 川 明 子 NAKAGAWA, Akiko
校長補佐(学生主事) Assistant President (Dean of Student Affairs) 一 色 誠 子 ISSHIKI, Seiko	国際交流室長 Chief of International Exchange Office 北 村 健 太 郎 KITAMURA, Kentaro
校長補佐(寮務主事) Assistant President (Dean of Dormitory Affairs) 池 田 光 優 IKEDA, Mitsumasa	教育改善IR室長 Chief of Institutional Research for Educational Improvement Office 張 間 貴 史 HARIMA, Takashi
校長補佐(専攻科長) Assistant President (Chief of Advanced Courses) 重 村 哲 至 SHIGEMURA, Tetsuji	機械電気工学科主任 Chief of Mechanical and Electric Eng. 櫻 本 逸 男 SAKURAMOTO, Itsuo
校長補佐(総合企画室長) Assistant President (Chief Planning and Coordination Officer) 西 村 太 志 NISHIMURA, Futoshi	情報電子工学科主任 Chief of Computer Science and Electronic Eng. 義 永 常 宏 YOSHINAGA, Tsunehiro
校長補佐(研究・産学連携担当) Assistant President (Research and Industry-Academia Collaboration) 山 田 健 仁 YAMADA, Takehito	土木建築工学科主任 Chief of Civil Eng. and Architecture 渡 辺 勝 利 WATANABE, Katsutoshi
テクノ・リフレッシュ教育センター長 Director of Center for Collaborative Research and Education 大 西 祥 作 ONISHI, Shosaku	一般科目主任 Chief of Liberal Arts Division 長 戸 喜 隆 NAGATO, Yoshitaka
研究推進室長 Director of Research Promotion Division 山 田 健 仁 YAMADA, Takehito	事務部長 Director of the Administration 長 塚 正 明 NAGATSUKA, Masaaki
教育・研究支援センター長 Director of Support Center for Education and Research 奥 本 幸 OKUMOTO, Miyuki	総務課長 Chief of General Administration Division 小 田 清 治 ODA, Seiji
図書館長 Director of the Library 西 村 太 志 NISHIMURA, Futoshi	学生課長 Chief of Student Affairs Division 貞 野 修 一 郎 SADANO, Shuichiro
情報処理センター長 Director of Information Processing Center 新 田 貴 之 NITTA, Takayuki	

(5) 組織図 Organization Chart



(6) 各種委員会 Committees

運営委員会	Steering Committee	知的財産委員会	Intellectual Property Committee
人事委員会	Personnel Committee	情報セキュリティ管理委員会	Information Security Management Committee
予算委員会	Budget Committee	情報セキュリティ推進委員会	Information Security Promotion Committee
教務委員会	Academic Affairs Committee	情報公開委員会	Information Disclosure Committee
専攻科委員会	Advanced Course Committee	安全衛生委員会	School Safety and Hygiene Committee
入学試験委員会	Admissions Committee	ハラスメント防止委員会	Harassment Prevention Committee
専攻科入学試験委員会	Advanced Course Admissions Committee	男女共同参画推進委員会	Committee for Promotion of Gender Equality
厚生補導委員会	Student Affairs Committee	紀要編集委員会	College Bulletin Committee
学生支援委員会	Student Services Committee	ロボットコンテスト実行委員会	Robot Contest Committee
学寮運営委員会	Dormitory Affairs Committee	サテライト運営委員会	Satellite Campus Committee
施設マネジメント委員会	Facilities Management Committee		

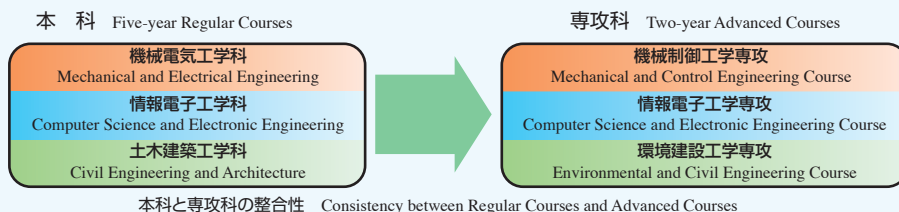
教育体制

Educational System

我が国の教育体系は大きく二つに分かれています。一つは高校から大学へと続くものであり、他の一つは高専本科から専攻科へと続くものです。本科は5年間の教育課程で、卒業者は「準学士」と称することが認められます。専攻科は2年間の教育課程で、専攻科修了者は一定の要件を満たせば「学士」の学位を得ることができます。

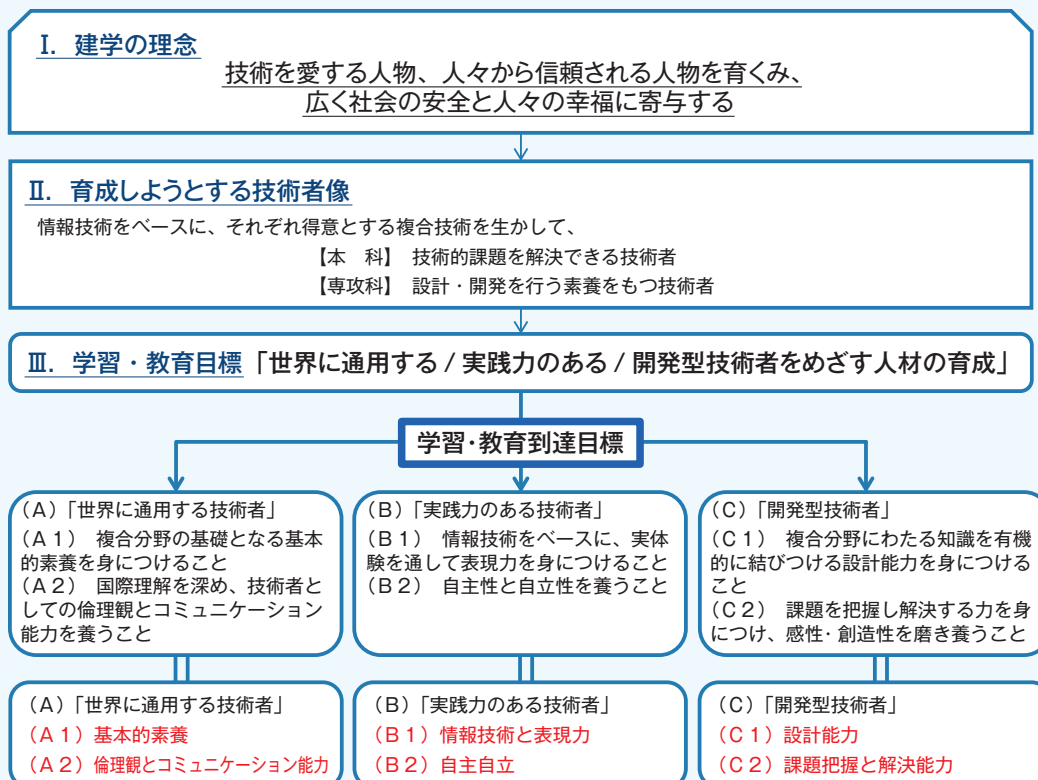
There are mainly two educational courses to take in Japan. One is a tier of a three-year high school followed by a four-year college. The other is a tier of a five-year national institute of technology continued with two-year advanced course. When you have completed the five-year regular course here at National Institute of Technology, Tokuyama College, you will be able to earn an associate degree. Also, when you have finished the two-year advanced course here, you will be able to get a bachelor's degree.

本校は本科に3学科、専攻科に3専攻を設置しており、それぞれ1対1に対応しています。そのため、本科における複合教育を専攻科においても継続して行うことができ、日本における複合教育のパイオニア的役割を、引き続き果たしています。



Our college has three five-year regular courses and each regular course is followed by its corresponding two-year advanced course. This educational system makes it possible to continue providing consistent interdisciplinary engineering education for the advanced course students. Thus, our college is playing a leading role in interdisciplinary education in Japan.

徳山高専の教育理念 (建学の理念から学習・教育目標まで)



育成しようとする技術者像

Our Vision of the “Ideal Engineer” at Tokuyama College

本校では、建学の理念に基づき、次のような技術者を育てようとしています。

We seek to foster engineers upon our founding ideals:

【本科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

To bring up engineers with technological problems solving skills capable of utilizing interdisciplinary technologies based upon information technology.

【専攻科】

情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

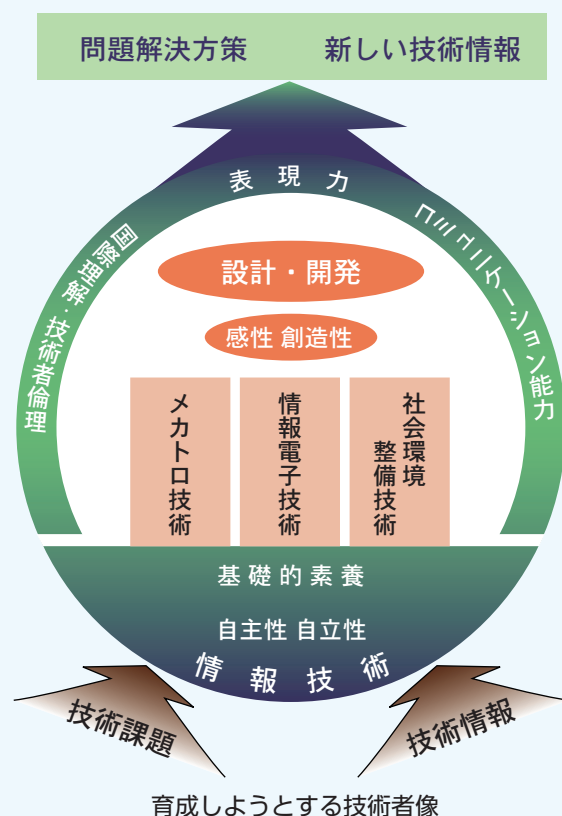
To nurture engineers capable of conducting research and development with interdisciplinary technologies based upon information technology.

これは、卒業生の活躍分野が、業種・職種ともに多岐にわたっていることから、多くの技術分野で必須である「情報技術」をベースとし、それに、本校開校以来の伝統である「複合技術」を活用して活躍する技術者を想定しています。

ただし、本科と専攻科では修業年限が異なりますので、めざす技術者像は自ずと異なってきます。しかし、それらはいずれも社会の要請に応えるものでなくてはなりません。そこで本科では、発見した「技術的課題を解決できる技術者」を、専攻科ではそこから新たなものを「設計・開発できる技術者」を育てようとしています。

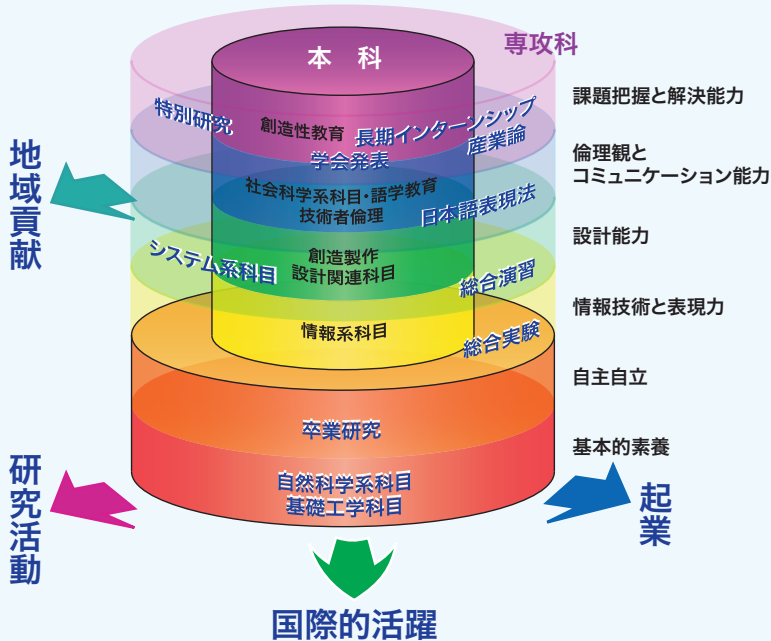
Tokuyama College offers professional qualifications based on information technology for a variety of occupations and industries. Since its founding we have aimed at fostering engineers capable of utilizing interdisciplinary technologies.

There are two courses available – Regular Course and Advanced Course. Each course has its own vision. But essentially both courses must meet society’s high expectations. For this reason, we nurture engineers with skills for solving technological problems at the level in the Regular Course, and produce engineers capable of conducting research and development in the Advance Course.



世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成

To educate the students to be future engineers with a world-class competitive edge, practical skills, and competence in research and development.



徳山高専は、「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」を、平成5年度から学習・教育目標として掲げてきました。平成14年度にはその内容をさらに具体化し、次に示す6つの学習・教育到達目標にまとめました。左のイラストは、そのイメージをまとめたものです。

National Institute of Technology, Tokuyama College has put “to educate the students to be future engineers with a world-class competitive edge, practical skills, and competence in research and development” forward as its educational goal since 1993. Based on the educational goal, our college set the following six concrete goals in 2002. The chart on the left illustrates how these goals are pursued in our college.

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
 - (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
 - (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - (C) 「開発型」技術者をめざすために
 - (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
- (A) In order to educate our students to be future engineers with a world-class competitive edge, we get them
 - (A1) to acquire basic knowledge to apply to interdisciplinary fields, and
 - (A2) to deepen their global understanding, cultivate their ethics for engineers, and improve their communicative ability.
 - (B) In order to educate our students to be future engineers with practical skills, we get them
 - (B1) to be able to utilize information technology and improve their presentation ability through practice and internship programs, and
 - (B2) to be independent.
 - (C) In order to educate our students to be future engineers with competence in research and development, we get them
 - (C1) to improve the ability to combine and organize their knowledge of various fields, and
 - (C2) to be able to analyze, address and solve problems and polish their sensibility and creativity.

具体的到達目標

Concrete Goals for the Students to Achieve

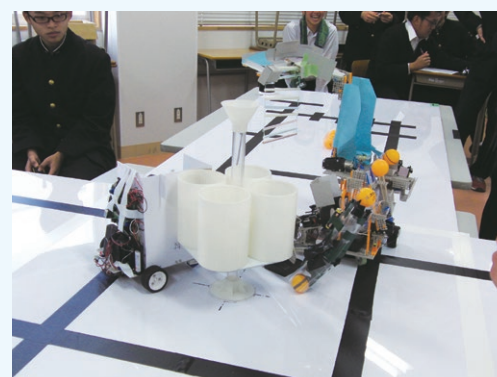
本科卒業生と専攻科修了生のめざす到達目標を、学習・教育目標に沿って、より具体的に定めました。この具体的目標は、本科課程（準学士課程）と専攻科課程を終えるとき、全員が到達する内容を示しています。

In line with our educational goal, our college has set more specific goals for regular and advanced courses respectively. All the students are supposed to achieve the following goals when they have completed their regular and advanced courses.

準学士課程卒業時

When You Have Completed the Regular Course

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
- (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - ・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - ・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する
 - ・ 自らの目標を定め、外部試験を活用して、英語力のステップアップを図る
- (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
- (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - ・ 情報関連・実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - ・ 卒業研究の科目を修得する
- (C) 「開発型」技術者をめざすために
- (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - ・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - ・ 創造系の科目を修得する
 - ・ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う



専攻科課程修了時

When You Have Completed the Advanced Course

- (A) 「世界に通用する」技術者をめざすために
- (A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること
 - ・ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する
 - ・ 学士を取得する
 - (A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと
 - ・ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する
- (B) 「実践力のある」技術者をめざすために
- (B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につけること
 - ・ 情報関連・実験の科目を修得する
 - (B2) 自主性と自立性を養うこと
 - ・ 卒業研究の科目を修得する
- (C) 「開発型」技術者をめざすために
- (C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること
 - ・ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する
 - ・ 総合科目（2科目以上）及び総合演習の科目を修得する
 - (C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと
 - ・ インターンシップ及び特別研究の科目を修得する
 - ・ 国内外の学協会で発表を行う



ディプロマポリシー（卒業・修了認定の基本方針）

本校では、下記の人材の育成を目的とします。所定の年限在籍し、以下に示す能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつける能力を備え、各学科が規定する単位を修得したものに卒業を認定し準学士と称することを認め、各専攻が規定する単位を修得したものに修了を認定します。

【本科】情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者

【専攻科】情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者

卒業生・修了生が修得すべき能力・技能を具体化すると、次のようになります。

1. 基本的能力 数学、自然科学、人文・社会科学、工学基礎など、工学の専門知識や技術の修得に必要な能力。
2. 専門的能力 それぞれの専門分野及び複合分野にわたる技術者として備えるべき能力。
3. 汎用的技能 技術者として必要となるコミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考などの技能。
4. 態度・志向性（人間力） 技術者として必要となる主体性、自己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、未来志向型キャリアデザインなどの能力。
5. 創造的思考力 技術者として必要となる創成能力やエンジニアリングデザイン能力などの思考力。
6. 異文化対応力 技術者として世界のどこでも必要となる教養と感性を持ち、グローバルな視点で異文化に対応する能力。
7. 倫理的判断力 世界のどこで活躍しようとも必要となる判断基準を持ち、技術者として自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための能力。

カリキュラムポリシー（教育課程編成および実施の基本方針）

本校では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成するために、以下に示す科目群を用意しています。各学科・専攻科における具体的な科目群をまとめると次のようになります。

<全学科・専攻共通>

1. 基本的能力
豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会科学、芸術などに関する科目を本科・専攻科を通して用意しています。また、工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を学ぶことを目的として、数学、自然科学、基礎工学などに関する基礎・応用科目群を本科・専攻科を通して教育課程に用意しています。
2. 専門的能力
各学科・専攻科において専門工学、工学実験・実習、応用・学際的科目群を用意しています。
3. 汎用的技能
各学科・専攻科において創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）、学科学年縦横断型の活動など、汎用的技能を身につけるための実技科目群や活動を用意しています。
4. 態度・志向性（人間力）
各学科・専攻科において創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）、体育などとともに、学科学年縦横断型の活動、キャリア教育支援プログラム、課外活動など、態度・志向性（人間力）を育成するための科目群や学生の自発的参加型の活動を用意しています。
5. 創造的思考力
各学科・専攻科において創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）、学科学年縦横断型の活動など、創造的思考力を育成するための課題解決能力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意しています。
6. 異文化対応力
技術者としての異文化対応能力を身につけることを目的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や国内研修・海外研修・語学研修プログラムを本科・専攻科を通して用意しています。
7. 倫理的判断力
技術者としてグローバルな視点で自らの技術を公衆の安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身につけることを目的として倫理、哲学、技術者倫理、安全工学概論などの科目を本科・専攻科を通して用意しています。

<機械電気工学科・機械制御工学専攻>

- 1) 機械工学・電気工学の基礎・応用科目群：いわゆる機械工学（材料力学、水力学、熱力学、機械力学など）および電気工学（電気回路、電子回路、電磁気学など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（ロボット制御工学、応用計測工学など）を用意しています。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的な工学実験、工作実習、設計製図（および専攻科における総合実験）などの実技科目を用意しています。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：創造演習・創造製作、知的財産権、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）など、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力などの総合的能力を身につけるための科目を用意しています。

<情報電子工学科・情報電子工学専攻>

- 1) 電子・情報・通信工学の基礎・応用科目群：いわゆる情報工学（情報理論、コンピュータアーキテクチャ、プログラミングなど）および電気・電子工学（電磁気学、アナログ回路、デジタル回路など）を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群（メディア信号処理、半導体電子工学など）を用意しています。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群：実践的なプログラミング関連科目、電子工学実験、情報システム実験、電子通信システム実験（および専攻科における総合実験）などの実技科目を用意しています。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群：知的財産論、創造演習・創造製作、卒業研究（および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究）など、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力などの総合的能力を身につけるための科目を用意しています。

＜土木建築工学科・環境建設工学専攻＞

- 1) 土木工学・建築学の基礎・応用科目群:いわゆる土木工学(土木構造・材料学、水工学、地盤工学、測量学など)および建築学(建築構造・材料学、建築計画学、建築環境・設備学、都市計画学など)を基盤とした基礎専門科目群および専攻科におけるそれらの応用・学際的科目群(建設プログラミング、都市環境計画学など)を用意しています。
- 2) 実践的技術力の修得に関する科目群:実践的な工学デザイン、工学実験、測量実習、情報処理、CAD(および専攻科における総合実験)などの実技科目を用意しています。
- 3) 課題解決能力・開発力の育成に関する科目群:集中測量実習、創造演習、卒業研究(および専攻科における総合演習、応用研究、特別研究)など、課題解決能力、応用力、創造力、プロジェクトマネジメント力、チームワーク力、表現力などの総合的能力を身につけるための科目を用意しています。

＜成績評価及び単位認定基準＞

これらの科目に対する単位取得の認定は、各科目のシラバスに基づき、以下の方法で行います。

- (1) 成績評価は、定期試験の成績、レポート等の課題、履修状況等を総合して実施します。
- (2) 成績は履修と認められた科目で100点法により採点し、60点以上の成績をもって所定の単位を認定します。
- (3) 成績評価の評語は以下の4段階とします。

評点区分(評語)	最終成績(点)	GP(Grade Point)
優	80~100	3
良	70~79	2
可	60~69	1
不可	0~59	0

アドミッションポリシー(入学者選抜の基本方針)

本校のアドミッションポリシーは、ディプロマポリシーに基づき、次のような能力と意欲を持った学生を入学させるためのものです。具体的には次のような人を求めています。

＜本科入学者および編入学者に求める学生像＞

本科(準学士課程)では、以下の素養を有する人を求めています。

- ・数学と理科の基礎学力が身につけている人
- ・信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えている人

＜専攻科入学者に求める学生像＞

専攻科では、次のような人を広く求めています。

- ・複合分野の基礎となる基本的素養が身につけている人
- ・コミュニケーション能力や倫理的判断能力が身につけている人
- ・実験・演習や卒業研究に意欲をもって取り組んでいる人
- ・ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えている人

本校では、入学者の選抜に関して以下の方針を定めています。

＜本科入学者選抜の基本方針＞

- ・推薦による選抜においては、出身中学校長が責任を持って推薦した生徒に対して、調査書および推薦書等の提出資料の内容に加え、作文(コミュニケーション能力の基礎として国語による表現力、ものづくりが好きであるかを評価)、目的意識・意欲などに関する一般面接(コミュニケーション能力や意欲、ものづくりが好きで、信頼される技術者を目指しているか、社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価)、各学科への適性に関する適性面接(数学や理科の基礎学力を評価)の結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。
- ・学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、学力検査の結果と調査書の内容を総合的に評価します。学力検査は筆記試験で、国語、英語、数学、理科、社会の5教科です。なお、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科と調査書は主に十分なコミュニケーション能力の基礎を身につけているかを評価します。
- ・帰国子女特別選抜においては、筆記試験で、国語、英語、数学、理科の4教科を実施し、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科では主に十分なコミュニケーション能力を身につけているかを評価します。さらに一般面接(意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価)を行い、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

＜編入学者の選抜方針＞

編入学希望者の選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、数学と英語、および物理または専門科目の学力検査(基礎学力を評価)を行い、調査書等の内容を参考に面接(コミュニケーション能力、意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価)を行い、これらの結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

＜専攻科入学者選抜の基本方針＞

専攻科入学者の選抜は、「学校長の推薦による選抜」、「学力検査による選抜」および「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・「学校長の推薦による選抜」においては、在籍学校長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、口頭試問(実験・演習や卒業研究の取り組みを評価)及び面接(コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価)の結果並びに出願書類をもとに、総合的に判定します。
- ・「学力検査による選抜」においては、数学、英語及び専門科目の得点の合計(複合分野の基礎となる基本的素養を評価)、面接(コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価)の結果並びに出願書類をもとに、総合判定により行います。英語はTOEICスコアを本校専攻科で定めた基準により換算します。また専門科目は口頭試問で実施します。なお、専門科目は外部資格による免除制度があります。
- ・「社会人特別選抜」においては、所属する機関の長が学力・人物ともに優れていると認め推薦した者に対して、面接(コミュニケーション能力、ものづくりや研究開発で社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価)の結果及び出願書類をもとに、総合判定により行います。

各学科／専攻で修得する技術

Technological Skills the Students Are Required to Master

本校は本科と専攻科が1対1に対応しているため、学科／専攻を通して修得する技術を定めています。また、本科卒業生と専攻科修了生のめざす技術者像も踏まえ、各学科と専攻で修得する技術を明確にしました。

Our college has three five-year regular courses and each regular course is followed by its corresponding two-year advanced course. The technological skills that the regular and advanced course students are required to master in common have already been shown, in addition, on the basis of the images of a desirable engineer that our college aims to send out into society, we have specified the following as technological skills that the regular and advanced course students are required to master respectively.

情報系分野

機械系分野

創造力

設計 (CAD)
加工 (CAM)

情報 (メカの制御)

エネルギー (メカの動力)

材料 (メカの強度)

メカトロ技術

Technologies of mechatronics engineering

機械電気工学科

「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術」

Technological skills to design and produce machines controlled by computers

機械制御工学専攻

「コンピュータで制御する機械を設計・開発する技術」

Technological skills to design and develop machines controlled by computers

情報電子工学科

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

Technological skills to design and build computer-based electronic telecommunications systems

情報電子工学専攻

「コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術」

Technological skills to design and develop various computer-based systems

情報系分野

電子系分野

情報処理システム

情報通信システム

コンピュータ応用機器システム

コンピュータ
ソフトウェア
ハードウェア

情報電子技術

Technologies of computer science and electronic engineering

土木系
情報技術

建築系

環境系

構造系

計画系

実践系

工学デザイン
Engineering Design
情報技術

社会環境整備技術

Technologies of environmental and civil engineering

土木建築工学科

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

IT-based skills to design and construct infrastructure and architectural space

環境建設工学専攻

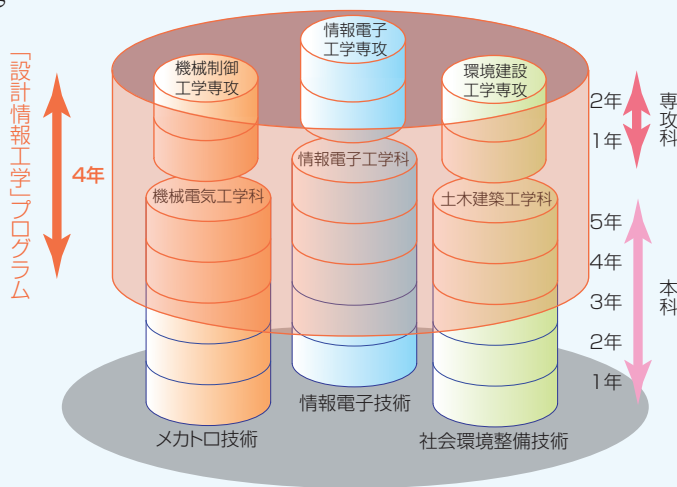
「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・開発する技術」

IT-based skills to design and develop infrastructure and architectural space

「設計情報工学」プログラム Communication and IT-based Design Engineering

徳山高専では、本科4・5年と専攻科のカリキュラムで「設計情報工学」プログラムを構成しています。この教育プログラムは、平成15年度に日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、国際的に通用する教育の品質が保証された教育プログラムとして、工学（融合複合・新領域）関連分野において認定されました。本校では、本科・専攻科とも3つの複合学科に分かれています。この「設計情報工学」プログラムでは本校の教育全体をまとめて一本化しました。これは、専門とする知識や得意分野は違っていても、目標とする技術者像は同じであり、また、教育方法も共通するところが多いからです。

「設計情報工学」プログラムを修了することにより、4年制大学と同等の教育内容が保証されることはもちろん、高度情報化社会において開発型技術者として活躍するために必要とされる能力を兼ね備えた人材として、大きく飛躍していくことが期待されます。



「設計情報工学」プログラム構成図

At our college, the curriculums for the fourth and fifth-year regular course students and the advanced course students constitute the engineering education program, “Communication and IT-based Design Engineering.” In 2003, this educational program was accredited as a general engineering program that is on a par with global standard by the Japan Accreditation Board for Engineering Education.

Though our college has three different regular courses followed by three corresponding advanced courses, we have adopted this educational program as one that can comprehensively be applied to all the courses. For these three courses have a lot in common in terms of their educational goal and educational methods despite the differences in their expertise and strong compound technologies.

Any student who completes the JABEE program in Communication and IT-based Design Engineering is guaranteed to get a university-level education. On top of that, any student who completes the educational program is expected to play an active part as a competent engineer in various areas of research and development in a highly-developed information-oriented society.

JABEE（日本技術者教育認定機構）とは？ Japan Accreditation Board for Engineering Education

日本技術者教育認定機構の略称で、大学や高専など高等教育機関で行われている「技術者教育プログラム」が社会の要求水準を満たしているかどうかを評価・認定します。JABEEは、技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定であるワシントン・アコードに2005年から加盟しており、JABEEによる認定は、教育環境も含め、入学から卒業までの教育プロセスすべてを含めたもので、我が国の工学（技術）教育を質的に向上させ、国際的に通用させることをめざしています。

JABEE stands for Japan Accreditation Board for Engineering Education. By assessing and accrediting the engineering education programs provided by institutions of higher education such as colleges of technology and universities, JABEE ensures the international equivalency of the quality of education the colleges and universities offer. JABEE has been accredited by Washington Accord which is an international agreement among bodies responsible for accrediting engineering degree programs since 2005. JABEE assesses and accredits the whole process of education at Japanese colleges and universities including educational environments. The ultimate goal of JABEE is to raise the level of engineering education programs in Japan to a global standard.



JABEE認定証

めざせ創造性豊かなメカトロニクス・エンジニア

あらゆる産業分野やさまざまな人間生活の場面では、機械は人間を助けて幅広く活躍しています。これらの急速に発展を遂げつつある機械の特徴は、電気で駆動され、コンピュータで制御されるということで、機械と電気・電子技術が複合したメカトロニクス技術が大変重要な技術となっています。徳山高専機械電気工学科は、学科の教育目標として、「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術者の育成」を掲げ、最も早い段階から取り組んできた先進的な学科です。ところで現在の日本は、世界の産業分野でのリーダーであることが求められると同時に、産業構造の転換やさらに地球環境と共存できる技術システムの構築という大きな課題を抱えています。これらを克服していくためには、自ら新しい技術を生み出していくしかありません。すなわち創造性豊かな技術者が今ほど求められたことはなかったと思われます。

機械電気工学科ではこれらの課題に応えるべく、創造性豊かなメカトロニクス・エンジニアを育成するための教育プログラムをいち早く作成し、低学年から自発性、創造性を育成できるように、実践を重視しながら教育を行っています。

Mechanical and Electrical Engineering is the basis for all industries and for our lives. Our department provides extensive training in Computer Science subjects as well as in Mechanical, Electrical and Electronic Engineering subjects.

Our department curriculum offers courses in creativity which will inspire students to be imaginative engineers with applicable ability.



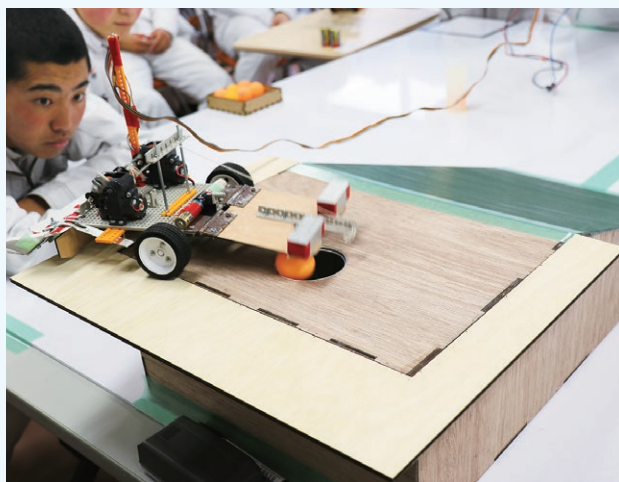
CADによる設計製図



ロボットの設計と製作



マシニングセンタを用いた工作実習



創造製作の授業風景

教育課程の特色 Features of Curriculum

メカトロニクス技術を習得するために、機械、電気・電子、コンピュータ・制御に関する科目が設けられています。また、未知の課題にアプローチし、その課題に自ら取り組む創造演習や、自由な発想に基づき、ものづくりを行う創造製作が設けられており、創造性を養うと同時に、ものづくりに必要な計画力や創造的遂行能力が身につけられます。

Our department curriculum focuses on essential subjects to master indispensable techniques and knowledge for mechanical and electrical engineering. The courses designed in our curriculum, “Creation and Research Practice” and “Creative Production” address that particular issue.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year					
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	工作実習Ⅰ	Workshop Practice I	2	2				
	工作実習Ⅱ	Workshop Practice II	2		2			
	工学実験Ⅰ	Experiments in Engineering I	1			1		
	工学セミナー	Seminar in Engineering	1				1	
	電気回路Ⅰ	Electric Circuit I	1			1		
	電子回路Ⅰ	Electronics Circuits I	2			2		
	※ 電磁気学	Electromagnetism	2				2	
	材料力学Ⅰ	Materials and Mechanics I	1			1		
	水力学Ⅰ	Fluid Mechanics I	1			1		
	※ 熱力学	Thermodynamics	2				2	
	※ 工学実験Ⅱ	Experiments in Engineering II	3				3	
	卒業研究	Graduation Research	8					8
	履修単位計	Total Credits Required	26	2	2	6	8	8
	必修科目 Subjects Required to Take	機械の基礎	Introduction of Mechanical Engineering	1	1			
電気の基礎		Basis of Electricity	1	1				
技術発達史論		Development of Technology	1	1				
知的財産権		Intellectual Property	1			1		
※ 技術者倫理		Engineering Ethics	1					1
工業英語Ⅰ		English for Industrial Technology I	1			1		
※ 工業英語Ⅱ		Industrial English II	1					1
※ 関数論		Theory of Functions	1				1	
※ 確率・統計		Probability and Statistics	1				1	
※ フーリエ変換		Fourier Analysis	1					1
コンピュータ基礎		Computer Literacy	1	1				
プログラミング基礎		C Language Programming	2		2			
プログラミング応用		Applied Programming	1			1		
※ 数値計算		Numerical Mathematics	1					1
※ 電気回路Ⅱ		Electric Circuit II	1				1	
※ 電子回路Ⅱ		Electronics Circuits II	1				1	
アクチュエータ		Actuator	1			1		
※ 制御工学Ⅰ		Control Engineering I	1				1	
※ 制御工学Ⅱ		Control Engineering II	2					2
※ 計測工学		Measurement II Engineering	2					2
加工学		Working and Processing Methods	1		1			
機構学		Mechanisms	1			1		
工業力学		Industrial Dynamics	1			1		
※ 機械力学Ⅰ		Mechanical Dynamics I	1				1	
※ 機械力学Ⅱ		Mechanical Dynamics II	1					1
※ 計算力学		Computational Mechanics	1					1
材料学Ⅰ		Materials I	2			2		
※ 材料学Ⅱ		Materials II	1				1	
※ 材料力学Ⅱ		Materials and Mechanics II	2				2	
※ 弾塑性論		Elasto-Plasticity	1					1
※ 水力学Ⅱ		Fluid Mechanics II	1				1	
※ 熱機関		Heat Engine	1					1
※ 機械設計論Ⅰ		Mechanical Design I	2				2	
※ 機械設計論Ⅱ		Mechanical Design II	1					1
基礎設計製図Ⅰ	Fundamental Mechanical Design and Drawing I	2	2					
基礎設計製図Ⅱ	Fundamental Mechanical Design and Drawing II	2		2				
※ 設計製図Ⅰ	Mechanical Design and Drawing I	1			1			
※ 設計製図Ⅱ	Mechanical Design and Drawing II	1				1		
※ 設計製図Ⅲ	Mechanical Design and Drawing III	1					1	
創造演習Ⅰ	Creation and Research Practice I	1	1					
創造演習Ⅱ	Creation and Research Practice II	1			1			
創造製作Ⅰ	Creative Production I	2		2				
※ コンピュータ制御	Computer Control	2			2			
※ 創造製作Ⅱ	Creative Production II	2				2		
履修単位計	Total Credits Required	55	7	7	12	15	14	
選択科目 Elective Subjects	総合実地演習Ⅰ	Internship Program I	1		1			
	総合実地演習Ⅱ	Internship Program II	2		2			
	校外実習Ⅰ	Internship I	1				1	
	校外実習Ⅱ	Internship II	2				2	
	※ 環境リサイクル論	Environment and Recycling	1					1
	※ 一般物理	General Physics	1					1
	※ 機能材料	Innovative Materials	1					1
	※ ターボ機械	Turbo Machine	1					1
	※ 伝熱工学	Heat Transfer	1					1
	※ 有限要素法	Finite Element Method	1					1
	※ 流体力学	Fluid Dynamics	1					1
	※ ベンチャービジネス論	Theory of Venture Business	1					1
	特別講義Ⅰ	Special Lecture I	1					1
	特別講義Ⅱ	Special Lecture II	1					1
	開設単位計	Offered	16		3		3	10
	履修単位計	Total Credits Required	5					5
	専門科目履修単位合計	Total of Required Subject Credits	86	9	9	18	23	27
	履修単位合計 (一般科目+専門科目)	Total of Required Credits	168	34	34	34	36	30

注 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor 技術士(機械, 原子力放射線, 総合技術監理) Professional Engineer	大西 祥作 ONISHI, Shosaku	装置類の保守&保全に関する研究 機械設計法教育に関する研究 Study of maintenance plan & management of equipment's Study of education of mechanical design	機械設計 Mechanical design	テクノ・リフレッシュ教育センター長 Director of Center for Collaborative Research and Education 研究推進室員 Research Promotion Officer
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	櫻本 逸男 SAKURAMOTO, Itsuo	中枢神経組織の機械的性質に関する研究 Study on Mechanical Property of Central Nervous System 人工関節の機械高度化に関する研究 Improvement of Artificial Knee Joint	生体力学 Biomechanics 機械力学 Dynamics of Machinery	学科主任 Chief of Department 国際交流協力教員 International Exchange Associate
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	西村 太志 NISHIMURA, Futoshi	金属疲労に関する研究 Study on Fatigue of Metals ナノインデンテーション試験法の開発 Application of Nanoindentation Techniques	材料強度学 Strength and Fracture of Materials 材料工学 Materials Engineering	校長補佐(総合企画室長) Assistant President (Chief Planning and Coordination Officer) 研究推進室員 Research Promotion Officer 図書館長 Director of the Library 情報処理センター副センター長 Vice Director of Information Processing Center
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	池田 光優 IKEDA, Mitumasa	水・軽油乳化燃料の燃焼特性 Combustion Characteristics in Water-Diesel Fuel Emulsion Fuel ポリエチレンフィルムの融解・燃焼挙動 Melting and Combustion Characteristics of Polyethylen Film	熱工学 Thermal Engineering	校長補佐(寮務主事) Assistant President (Dean of Dormitory Affairs)
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	張間 貴史 HARIMA, Takashi	複数円形噴流の流れ場の制御に関する研究 Control of the Flowfield Using Multiple Circular Jets	流体工学 Fluid Mechanics	教育改善IR室長 Chief of Institutional Research for Educational Improvement Office キャリア教育支援室キャリアアドバイザー Career Advisor 学生相談室相談員 Counselor
教授 Professor 博士(理学) Dr.Sci.	北村 健太郎 KITAMURA, Kentaro	地磁気計測・短波レーダーを用いた宇宙環境計測に関する研究 Space Environment Measurement Using Magnetometer and FMCW Rada	電磁場計測 Electro Magnetism	国際交流室長 Chief of International Exchange Office 専攻科幹事 Secretary of Advanced Course
嘱託教授 Professor on a short-term contract 工学博士 Dr.Eng.	藤田 重隆 FUJITA, Shigetaka	三次元自由噴流のパッシブコントロール Passive Control of Three-dimensional Free Jet ノズルアスペクトピッチ比が複数長方形噴流の発達に及ぼす影響 Effect of the nozzle pitch aspect ratio on the development of the multiple rectangular jets	流体工学 Fluid Mechanics 流体機械 Fluid Machinery	
准教授 Associate Professor	藤本 浩 FUJIMOTO, Hiroshi	螺旋式ポンプの開発及び応用 Development and Application of Hhelial Pump	電子制御 Electronic Control	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	石田 浩一 ISHIDA, Koichi	うず電流変位計・うず電流非破壊検査 Eddy Current Displacement Sensor, Eddy Current Inspection 計算機ホログラムの光学情報処理への応用 Application to Optical Information Processing of Computer-Generated Hologram	応用物理 Applied Physics	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor 理学博士 Dr.rer.nat	飛車 来人 Kurt, Fischer	解析的整数論 Analytic number theory	論理物理 Theoretical Physics 数学 Mathematics	
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	福田 明 FUKUDA, Akira	半導体デバイス研磨に関する研究 Chemical-Mechanical Planarization (CMP) and its Related Technologies	計算力学 Computational Mechanics 精密加工学 Precision Machining	5年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sci.	三浦 靖一郎 MIURA, Seiichiro	科学技術教育のためのe-learning教材開発 Development of E-learning Materials for Science and Engineering Education 障害者のための支援技術の開発 Development of Assistive Technologies for Persons with Disabilities 磁性体薄膜における磁区構造のパターン形成 Pattern Formation of Magnetic Domain Structure in Magnetic Thin Film	教育工学 Education Technology 福祉工学 Welfare Engineering 物性物理学 Fundamental Physics	3年担任 Class Teacher テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	鈴木 厚行 SUZUKI, Atsuyuki	強力超音波の応用に関する研究 Study on Applications of High- intensity Ultrasonic Vibration	超音波工学 Ultrasonics	4年担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor 博士(理学) Dr.Sci.	垣内田 翔子 KAICHIDA, Shoko	生体の協調制御に関する研究 Study on biological synergy control	生体情報工学 Biological Information Engineering, Biological Cybernetics	2年担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor 博士(工学) Dr.Eng.	池田 将晃 IKEDA, Masaaki	生物模倣型ロボットの開発および運動制御 Development and Motion Control of Biomimetic Robot	ロボット工学、 メカトロニクス Robotics, Mechatronics	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名	Name	担当科目	Subject	勤務先
阿部 忠人	ABE, Tadato	知的財産権 創造演習Ⅱ	Intellectual Property Creation and Research Practice	維新国際特許事務所

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research



●コンピュータ3D-CAD室

Computer 3D-CAD Room

1. 使用授業科目
基礎設計製図、設計製図、コンピュータ基礎、
プログラミング基礎・応用、創造演習、創造製作
2. 設備概要 Summaries about Equipment
 - (1) 学生用コンピュータ 52台
Computer for Students
OS Windows
 - (2) 管理用サーバー Server Computer
 - (3) 3Dソフト 3D Software
Solid Works 200ライセンス
 - (4) ワンチップマイコン用プログラム書込器 52台
Programmer for PIC

●材料力学研究室

Material-strength Test Laboratory

1. 材料試験機 Material testing machine
 - (1) 複合負荷精密材料試験機 島津AG-100kNE
 - (2) サーボバルサー 島津EHF-EV-100kN-20-T
 - (3) 電気油圧式引張圧縮疲労試験機 (±30kN)
 - (4) 小野式回転曲げ疲労試験機 島津 H7型
 - (5) 4連式片持ち回転曲げ疲労試験機 ホーコス
 - (6) 超微小押し込み硬さ試験機 エリオニクス ENT-2100
 - (7) 超微小押し込み硬さ試験機 島津 DUH-211
 - (8) マイクロビッカース硬さ試験機 島津 HMV
2. 顕微鏡 Microscope
 - (1) 走査型電子顕微鏡 日立 S-3400N
 - (2) 各種光学顕微鏡
 - (3) 万能投影機



●宇宙環境計測研究室

Space Environment Laboratory

- (1) 電離層観測用FMCWレーダー 三光社 SKI-02098
- (2) 地磁気観測用高感度3成分フラックスゲート磁力計
テラテクニカ FR721
- (3) 小型1軸ヘルムホルツコイル U841500
- (4) オシロスコープ Tektronix TBS2000
- (5) ファンクションジェネレータ NF回路ブロックWF1974
- (6) LCRメーター インステック LCR-819
- (7) 無線機 アイコム IC-9100
- (8) クラス100クリーンブース トヨシマ電機製 KFU2-20H



●流体工学研究室

Fluid Mechanics Laboratory

1. 乱流データ解析処理装置
Equipment for processing and analyzing Turbulent data
 - (1) 定温度型熱線流速計 Constant temperature Hot-Wire Anemometers
KANOMAX社製 8Ch
DANTEC社製 6Ch
 - (2) データ取得装置 Data acquisition system
日本ナショナルインスツルメンツ製 NI9215



電子通信システム実験

コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術者の育成

情報電子工学科の教育理念は「基礎力、実践力を備えた信頼されるエンジニアの育成」です。これは技術的な面だけでなく、能力的、人物的な面においても十分な基礎力を備え、将来さまざまな分野でさらに発展できる能力をもった信頼される技術者を育成しようというものです。とりわけ技術的な面での基盤となるカリキュラムは「電子・通信のわかるコンピュータシステム技術者を狙った」構成になっています。その主な内容は、

- (1) コンピュータのハードウェア技術とソフトウェア技術
- (2) 情報処理システムを支える応用ソフトウェア技術とユーザインタフェース技術
- (3) 通信情報システムを支える通信技術とネットワーク技術
- (4) コンピュータ応用機器システムを支える電子技術と計測制御技術

などです。このような技術を基礎から系統的に身につけることにより、『コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術者を育成』します。またこれらの技術をより実践的なものに高めるために、多くの実験実習時間を設けています。更に自分で問題をとらえ、自ら解決していく創造性豊かな技術者の育成をめざして、創造演習や卒業研究の指導にも力を注いでいます。

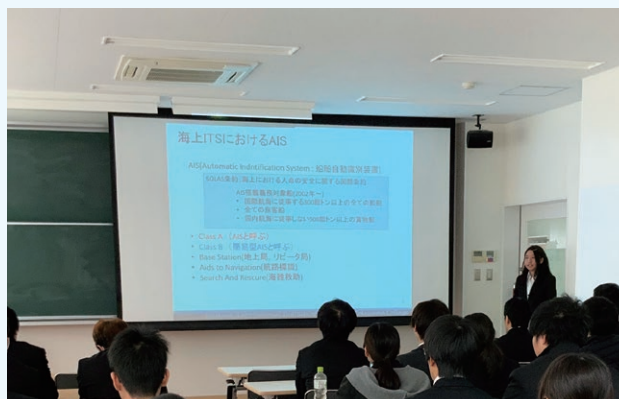
Our educational philosophy is to cultivate every student as a reliable and creative engineer who has a sufficient foundation in terms of “technology”, “ability” and “humanity”. We offer a curriculum that supports the technological basis for various computer systems. It includes the following:

- (1) Computer hardware and computer software technology
- (2) Application software and man-machine interface technology
- (3) Communication and network technology
- (4) Electronics, sensor and control technology

The students can systematically learn subjects in the technology fields shown above and then put their fundamental knowledge to practice through various experiments, exercises and graduation research. We assure that each student will be a reliable and creative engineer in the future.



電子工学実験



2月 卒業研究の発表

教育課程の特色 Features of Curriculum

情報工学と電子工学とをバランスよく学習する複合学科です。すなわち、コンピュータやこれに関連する技術によって構成される電子装置に必要なソフトウェア・ハードウェア両面の技術を並行して学習でき、先端技術も修得できるように教育課程を構成しています。

The CSEE department's curriculum has been carefully prepared so that classes of computer science are studied in correspondence with classes of electronics. For example, the up-to-date computer software technology class could be studied with that of the hardware.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year				
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
必修科目 Required Subjects	基礎電気回路	Basic Electric Circuits	2	2				
	基礎コンピュータ工学	Fundamental Computer Engineering	2	2				
	コンピュータの基礎知識	Introduction to Computer Science	1	1				
	基礎プログラミング	Fundamentals of Programming	3	3				
	電子工学実験	Electronic Engineering Experiments	4			4		
	※ コンピュータシステム実験	Computer Engineering Laboratory	4				4	
	※ 創造演習	Creation and Research Practice	1				1	
	※ 創造製作	Creative Production	1					1
	卒業研究	Graduation Research	10					10
	履修単位計	Total Credits Required	28	8		4	5	11
必修科目 Subjects Required to Take	電気数学	Mathematics for Electrical Engineering	1		1			
	集合と論理	Set and Logic	1		1			
	知的財産論	Intellectual Property	1			1		
	情報数学	Mathematics for Computer Science	2			2		
	※ フーリエ・ラプラス変換	Fourier and Laplace Transform	1				1	
	確率	Probability	1			1		
	※ 統計学	Statistics	1					1
	※ 情報理論	Information Theory	2				2	
	※ デジタル信号処理	Digital Signal Processing	1					1
	※ 電磁気学	Electromagnetism	2				2	
	※ 数値解析	Numerical analysis	1					1
	※ 社会情報システム	Social Information Systems	1				1	
	電気回路	Electric Circuits	2		2			
	計測工学	Electronic Instruments and Measurements	2			2		
	アナログ回路	Analog Electronic Circuits	2			2		
	デジタル回路	Digital Circuit	2			2		
	※ 情報通信工学	Communication Network	2				2	
	※ デジタル回路応用	Applications of Digital Circuits	1				1	
	コンピュータ演習	Seminar for computer	1	1				
	コンピュータ工学	Computer Engineering	2		2			
	プログラミング	Programming	2		2			
	プログラミング言語	Programming Language	1		1			
	コンピュータシステム概論	Introduction to Computer System	1			1		
	アルゴリズムとデータ構造	Algorithms and Data Structures	2			2		
	システムプログラミングⅠ	System Programming I	1			1		
	※ システムプログラミングⅡ	System Programming II	1				1	
	※ コンピュータアーキテクチャ	Computer Architecture	2				2	
	※ ソフトウェア工学	Software Engineering	2				2	
	※ データベース	Database	2				2	
	※ オペレーティングシステムⅠ	Operating System I	1				1	
	※ オペレーティングシステムⅡ	Operating System II	1					1
	※ ネットワークアーキテクチャ	Network Architecture	2					2
	工学セミナー	Seminar in Computer Science & Electronic Engineering	1				1	
※ 英語講読	Reading on Technical English	2					2	
特別講義	Guest Lecture	1					1	
履修単位計	Total Credits Required	51	1	9	14	18	9	
選択必修科目 Required Subjects (Elective)	※ 電子通信システム実験	Electronics and Communication Engineering Laboratory	2					2
	※ 情報システム実験	Software Engineering Laboratory	2					2
	開設単位計	Offered	4					4
履修単位計	Total Credits Required	2					2	
選択科目 Elective Subjects	※ 集積回路設計	Integrated Circuits Design	2					2
	※ 画像工学	Image Processing Engineering	2					2
	※ 言語処理	Formal Languages Processing	2					2
	※ オブジェクト指向プログラミング	Object-Oriented Programming	1					1
	※ コンピュータグラフィックス	Computer Graphics	2					2
	※ 知的情報処理	Intelligent Information Processing	2					2
	※ システム数理工学	System Mathematical Engineering	2					2
	校外実習Ⅰ	Internship I	1				1	
	校外実習Ⅱ	Internship II	2				2	
	開設単位計	Offered	16				3	13
履修単位計	Total Credits Required	5					5	
専門科目履修単位合計	Total of Required Subject Credits	86	9	9	18	23	27	
履修単位合計（一般科目+専門科目）	Total of Required Credits	168	34	34	34	36	30	

注① 5年生は電子通信システム実験または情報システム実験のいずれかを選択する

② 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	山田 健仁 YAMADA, Takehito	デジタル制御に関する研究 Digital Control System	制御工学 Control Engineering	校長補佐(産学・連携担当) Assistant President (Research and Industry-Academia Collaboration) 3年担任 Class Teacher 研究推進室長 Chief of Research Promotion Office テクノ・リフレッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	義永 常宏 YOSHINAGA, Tsunehiro	オートマトン理論 Automata Theory	情報工学 Information Engineering	学科主任 Chief of Department
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	奥本 幸 OKUMOTO, Miyuki	画像認識に関する研究 Image Recognition	情報工学 Information Engineering	教育・研究支援センター長 Director of Support Center for Education and Research 専攻科幹事 Secretary of Advanced Course 国際交流室員 International Exchange Officer
教授 Professor 博士(情報科学) Ph.D.	高山 泰博 TAKAYAMA, Yasuhiro	自然言語処理・文書処理に関する研究 Natural Language Processing and Document Processing	言語情報学 Language Informatics	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs 図書館参事 Associate Vice Director of the Library
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	重村 哲至 SHIGEMURA, Tetsuji	計算機アーキテクチャ Computer Architecture	計算機工学 Computer Engineering	校長補佐(専攻科長) Assistant President (Chief of Advanced Courses) 研究推進室員 Research Promotion Officer
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	原田 徳彦 HARADA, Norihiko	FD-TD法による電磁界解析 Finite Difference Time Domain Method in Electromagnetics	応用物理 Applied Physics	学生相談室長 Chief Counselor
教授 Professor 博士(理学) Ph.D.	浦上 美佐子 URAKAMI, Misako	分散情報システム応用・管理 Distributed Information systems	情報工学 Computer Science	2年担任 Class Teacher
嘱託教授 Professor on a short-term contract 博士(工学) Dr.Eng.	百田 正広 MOMOTA, Masahiro	動画処理による粒子像解析に関する研究 Image Processing	画像工学 Image Engineering	
准教授 Associate Professor	杉村 敦彦 SUGIMURA, Atsuhiko	画像処理(2次元巡回型フィルタ) Signal Processing	デジタル信号処理 Digital Signal Processing	4年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	新田 貴之 NITTA, Takayuki	教育支援システムに関する研究 Computer Assisted Instruction	計算機工学 Computer Engineering	情報処理センター長 Director of Information Processing Center
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	柳澤 秀明 YANAGISAWA, Hideaki	プロセッサの設計自動化、ハードウェア設計、Webベース共同開発環境 Design Automation for Developing Processors, Hardware Design, Web-based Collaborative Development Environment	情報工学 Information Engineering	総合企画室主務 Planning and Coordination Officer キャリア教育支援室キャリアアドバイザー Career Advisor
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	室谷 英彰 MUROTANI, Hideaki	半導体光物性評価に関する研究 Semiconductor Optics	半導体工学 Semiconductor Engineering	5年担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor	力 規晃 CHIKARA, Noriaki	帰納学習および充足可能性判定に関する研究 Inference System	情報工学 Information Engineering	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
助教 Assistant Professor 博士(工学) Ph.D.	宮崎 亮一 MIYAZAKI, Ryoichi	音響信号処理 Acoustic Signal Processing	情報工学 Information Engineering	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs 国際交流協力教員 International Exchange Associate

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名 Name	担当科目 Subject	勤務先
古賀 崇了 KOGA, Takanori	コンピュータグラフィックス Computer Graphics	近畿大学

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research

(1) ソフト系設備 Computer System

学科の学生が自由に利用できるネットワークに接続された最新のパソコン (PC) が51台設置されています。主に高学年の授業や実験に使うためのもので、これらに合わせたシステム構成になっています。学生一人あたりの使用可能なディスク容量が大きく、色々な機能が自由に使えるようになっています。また、1台のPCでMac OS, Windowsを同時に使用することができます。

CSEE students have access to 51 workstations connected to a network. Both operating systems, Mac OS and Windows, are utilized and each computer is connected to the Internet.

サーバコンピュータ群



HITACHI HA8000
(仮想デスクトップ基盤) ×3
Apple Mac Pro Server
(Mac用サーバ) ×1
HP ProLiant (UNIX) ×1
HP ProLiant (Windows) ×1
HP Z620 (UNIX) ×6

学生用PC (51台)



本体: Apple Mac mini
ディスプレイ:
32インチ (または、23インチ
デュアル)

大型インクジェットプリンタ



Epson PX-F8000



Mac OS X

携帯端末 (iOS) プログラム開発
C 言語, Java 言語, Perl 言語等プログラム開発
組み込み系 (H8, ARM, TeC) プログラム開発
数値計算 / シミュレーション (MATLAB/Simulink)
文書清書システム (TeX)
MS Office 2016

Windows 7

FPGA 開発 (Xilinx ISE)
回路シミュレータ (Multisim)

(2) ハード系設備 Facilities for System Development

☆ モデリングマシン CAMM-3
Modeling machine CAMM-3.



☆ 電子工学実験計測器
Measurement equipments for electronic engineering experiments.



☆ 電子通信システム実験計測器
Measurement equipments for electronics and communication system laboratory.



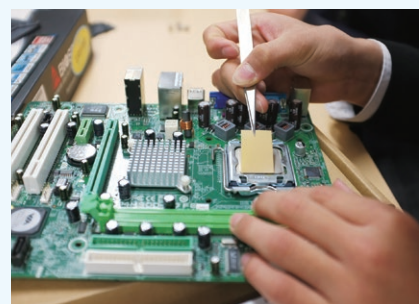
☆ 教育用コンピュータのクロス開発環境
Cross development environment for an educational computer.



☆ 情報電子工学実験室
Electronic engineering laboratory.



☆ パソコンの組立て
Assembling of a PC.



土木建築工学科

Department of Civil Engineering and Architecture

橋やダムなどの社会基盤、超高層ビルや住宅などの建築物の建設や維持管理には様々な技術が必要とされています。土木建築工学科の教育目標は、「情報技術を活用し、地域に適した社会基盤や建築空間を設計・施工・管理できる技術者の育成」です。本学科では、座学で土木技術と建築技術の基礎理論を学び、実験実習で実務に必要な技術を修得できる授業編成としています。また、本学科では通常の実験実習に加え、学外で泊まり込みの集中測量実習(3年生)や建設会社、設計事務所等でのインターンシップ(4年生)も実施しており、学生はより実践的な技術を修得することができます。さらに、4年生以上では学年横断型の演習科目を導入しており、学生は性別・年齢・国籍を超えて協働する大切さを学んでいきます。最新の建設技術と情報技術は不可分であり、1年生からコンピューターを用いた演習科目を積極的に導入しています。

土木建築工学科では卒業と同時に測量士補の資格を得られるほか、在学中の選択科目の修得状況によって一級または二級建築士の受験資格や火災類取扱保全責任者の試験科目の免除も得られます。卒業生は建設会社や設計事務所等の民間企業に加えて、国土交通省、県庁(市役所)や独立行政法人などの公的機関でも活躍しています。

Throughout Japan, we are in the midst of a great undertaking to improve the infrastructure, such as bridges, water supply system, roads, and architecture. The educational concept of the Department of Civil Engineering and Architecture make students to become engineer who can design, develop and maintain infrastructure and architectural space appropriately for society by using the information technology. Our students fundamental principles mainly from lectures, and get more practical skills through experiments and training. Particularly, there are some practical training outside the school including the intensive measuring survey training outdoors in the third year and internship training in a society like a construction company, a government office and some architectural design office. In addition, they also can acquire the collaborative mentality across gender, generation and nationality. At the graduation, all students get a qualification of assistant registered surveyors. Our graduates start working at private design company, construction company or as a public officer, and can also qualify for some qualifications depending on their credits.



まちなかの学生設計発表会 (5年生の創造演習)



3年生の測量実習



全国高専デザインコンペティション本選



2年生の工学デザイン基礎Ⅱ

教育課程の特色 Features of Curriculum

4年及び5年生には土木系専門科目と建築系専門科目の約半数に選択科目を設けて、学生の能力と志向によって自主的な勉学と創造力の育成に役立つ配慮がなされています。

After the students have learned the basic subjects in civil engineering and architecture for the first three years, students must then select either the Civil Engineering program or the Architecture program. Thus, the students in fourth and fifth year select subjects of their interest from many electives offered, in the specific areas of civil engineering or architecture.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year				
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
必修科目 Required Subjects	測量実習	4		2	2		
	工学デザイン基礎Ⅰ	2	2				
	工学デザイン基礎Ⅱ	2		2			
	工学デザイン基礎Ⅲ	2			2		
	基礎工学実験	2			2		
	力と変形	1	1				
	構造力学基礎	4		1	3		
	※ 技術者倫理	1					1
	※ 工学デザインⅠ	2				2	
	※ 工学デザインⅡ	2					2
	※ 創造演習	2				1	1
	※ 工学実験Ⅰ	1				1	
	※ 工学実験Ⅱ	1					1
	卒業研究	8					8
履修単位計	Total Credits Required	34	3	5	9	4	13
必修科目 Subjects Required to Take	※ 構造力学	2				2	
	建築一般構造	1			1		
	鉄筋コンクリート工学	2				2	
	プレストレストコンクリート工学	1					1
	鋼構造学Ⅰ	1				1	
	振動工学	1					1
	※ 建築構造設計	2					2
	地盤工学基礎	2			2		
	地盤工学	2				2	
	※ 基礎構造学	1					1
	道路工学Ⅰ	1				1	
	水理学基礎	2			2		
	※ 環境衛生工学	1				1	
	建設材料	1	1				
	※ 建設先端材料	1					1
	西洋建築史	1		1			
	建築デザイン概論	1	1				
	建築計画Ⅰ	2			2		
	都市計画	2				2	
	※ 建築環境工学	1				1	
	※ 建設マネジメント	1					1
	情報処理	5	2	1	2		
	CAD基礎	1			1		
	CAD応用	1				1	
	※ 確率・統計	1				1	
	測量学Ⅰ	2	2				
	測量学Ⅱ	2		2			
	※ 測量学Ⅲ	1				1	
測量学特論	1					1	
履修単位計	Total Credits Required	43	6	4	10	15	8
選択科目 Elective Subjects	※ 道路工学Ⅱ	1					1
	※ 鋼構造学Ⅱ	1					1
	※ 鋼構造学Ⅲ	1					1
	※ 応用プログラミング	1					1
	水理学	2				2	
	※ 河海工学Ⅰ	1				1	
	※ 河海工学Ⅱ	1					1
	※ 火薬学	1					1
	※ 建築材料	1				1	
	※ 建築計画Ⅱ	2				2	
	※ 日本建築史	1					1
	※ 近代建築史	1					1
	※ 建築環境工学演習	1				1	
	※ 建築設備	2					2
	※ 土木法規	1					1
	※ 建築法規	1					1
	※ 土木施工法	1					1
	※ 建築施工法	1				1	
	特別講義	1					1
	工学セミナー	1				1	
	校外実習Ⅰ	1				1	
	校外実習Ⅱ	2				2	
開設単位計	Offered	26				12	14
履修単位計	Total Credits Required	9				4	5
専門科目履修単位合計	Total of Required Subject Credits	86	9	9	19	23	26
履修単位合計（一般科目+専門科目）	Total of Required Credits	168	34	34	35	35	30

注 校外実習Ⅰ及び校外実習Ⅱは、重複して履修することができない

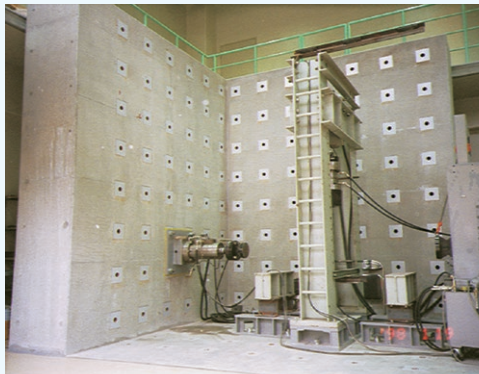
教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	橋本 堅一 HASHIMOTO, Ken-ichi	圧縮化の材料内の欠陥に起因する破壊に関する研究 Study on fracture due to faults in materials under compressive loading マグネシウムコンクリートの利用に関する検討 Consideration on application of magnesium concrete	応用力学 Applied Mechanics	図書館長補 Assistant Director of the Library
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	古田 健一 FURUTA, Ken-ichi	公的賃貸住宅利用システムに関する研究 A Study on the Utilization System of Public Housing 大都市圏における持家需要特性に関する研究 A Study on the Characteristics of Housing Demand in Major Metropolitan Areas	建築計画 Architectural Planning	4年担任 Class Teacher
教授 Professor 博士(工学) Dr.Eng.	渡辺 勝利 WATANABE, Katsutoshi	河川護岸の防災機能に関する研究 Study on disaster prevention function of river bank protection 開水路流れの乱流特性の解明と制御に関する研究 Clarification and control of turbulent structure in open channel flows	水工学 Hydraulic Engineering	学科主任 Chief of Department 国際交流協力教員 International Exchange Associate
嘱託教授 Professor on a short-term contract 博士(工学) Dr.Eng. PE APEC 技術士(建設)	原 隆 HARA, Takashi	構造物の動的耐荷力解析 Dynamic Load Carrying Capacity of Structures 鉄筋コンクリート構造の有限要素解析 Finite Element Analysis of Reinforced Concrete Structures	構造力学 Structural Mechanics 計算力学 Computational Mechanics	
嘱託教授 Professor on a short-term contract 博士(工学) Dr.Eng.	上 俊二 UE, Syunji	各種固化材を用いた地盤改良に関する研究 Study on Soil Improvement That Uses Various Solidification Materials 降雨時の斜面保護工法に関する研究 Study on Slope Protection Method at Rainfall	地盤工学 Geotechnical Engineering	
嘱託教授 Professor on a short-term contract 博士(工学) Dr.Eng.	佐賀 孝徳 SAGA, Takanori	開水路乱流の組織構造に関する研究 Investigation regarding turbulent structure in open channel flow 物体周辺の流れ構造と流速変動特性 Turbulent structure and instantaneous velocity field near the bluff body	水工学 Hydraulic Engineering	
准教授 Associate Professor 技術士(建設) P.E. Jp	目山 直樹 MEYAMA, Naoki	地方都市の企業立地と市街地形成との関係性 Study on Relation between Industrial Location and Urban Development in Local Cities 防災教育を通じた防災まちづくり Study about Community Design through Education of Disaster Prevention	都市計画・建築計画 City Planning, Archi- tectural Planning	テクノリフレッシュ教育センター 副センター長 Vice Director of Center for Collaborative Research and Education
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	桑嶋 啓治 KUWAJIMA, Keiji	破砕性の卓越した土の力学特性 Mechanical Characteristics of Crushable Soils 破砕性地盤における杭の支持力 Pile Bearing Capacity of Pile in Crushable Soils	地盤工学 Geotechnical Engineering	5年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	中川 明子 NAKAGAWA, Akiko	古代ギリシア建築の施工技術に関する研究 A Study on Construction Techniques in Ancient Greek Architecture 歴史的建造物の保存修復活用に関する研究 A Study on Preservation, Restoration and Use of Historical Architecture	建築史 History of Architecture 歴史的建造物の保存活用 Preservation, Restoration and Use of Historical Architecture	キャリア教育支援室長 Chief of Career Support Center 学生相談室相談員 Counselor
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	島袋 淳 SHIMABUKURO, Atsushi	環境・景観を考慮したコンクリートに関する研究 Study on the concrete for environment and landscape 砂地盤以外の液状化現象に関する研究 Study on liquefaction of non-plastic silt	土木材料学 Construction Material	3年担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	海田 辰将 KAITA, Tatsumasa	鋼橋の耐荷力評価と維持管理に関する研究 Remaining strength estimation and maintenance of existing steel bridges 腐食した鋼部材の残存耐荷力に関する実験・解析 Loading test and finite element analysis for corroded steel members	鋼構造学 Steel Structure 構造力学 Structural Mechanics	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor 博士(工学) Dr.Eng.	江本 晃美 EMOTO, Akemi	景観と安全性の両立を目指したコミュニティ主体のまちづくりに関する研究 Community Desgin for Landscape and Resiliency 災害時の外国人居住者に対する支援システムの開発 Development of Disaster Prevention Support System for Foreign Residents	建築・都市デザイン Architecture and Urban Design	2年担任 Class Teacher 国際交流室員 International Exchange Officer
講師 Lecturer	河野 拓也 KOUNO, Takuya	日本の住空間における建築デザイン・設計手法に関する研究 Architectural design and methodological approach in Japanese living space 住環境におけるインテリアデザイン Interior design on the living environment	建築設計 Architectural design 住環境 Living environment	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer
助教 Assistant Professor 技術士(建設) P.E. Jp	温品 達也 NUKUSHINA, Tatsuya	コンクリートの表層品質向上と評価に関する研究 Improvement and evaluation about surface layer properties of concrete	コンクリート工学 Concrete Technology	専攻科幹事 Secretary of Advanced Course 情報処理センター副センター長 Vice Director of Information Processing Center
助教 Assistant Professor 博士(工学) Dr.Eng.	劉 懋 LIU, Mao	座屈補剛された鋼構造部材の弾性座屈荷重に関する研究 Study on elastic buckling strength of steel members with bracing 鋼・コンクリート合成部材の保有変形性能に関する研究 Study on deformation capacity of steel concrete composite members	鋼構造・合成構造 Steel Structure・ Composite structure	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs
助教 Assistant Professor 博士(工学) Dr.Eng.	段下 剛志 DANSHITA, Tsuyoshi	生物学的排水処理の省エネルギー化に関する研究 Development of low-energy consumption wastewater treatment technology	環境工学 Environmental Engineering	総合企画室主務 Planning and Coordination Officer

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名	Name	担当科目	Subject	勤務先
井上 篤雄	INOUE, Atsuo	火薬学	Explosives	
坂本 修 他	SAKAMOTO, Osamu	建設マネジメント	Construction Management	洋林建設(株)他
河村 志朗 他	KAWAMURA, Shiro	技術者倫理	Engineering Ethics	(株)ソイル・ブレーション 他
石丸 和広	ISHIMARU, Kazuhiro	創造演習	Creative Practice	有限会社TIME
洞崎 伸治	HORAZAKI, Shinji	工学デザインⅠ	Engineering Design I	洞崎1級建築士事務所
岡村 和典	OKAMURA, Kazunori	工学デザイン基礎Ⅲ	Fundamental Technical Design III	Yau 一級建築士事務所
清田 誠良	KIYOTA, Nobuyoshi	建築環境工学	Building Environmental Engineering	清田環境研究所

主な教育・研究設備 Main Facilities for Education and Research



構造研究室

サーボアクチュエータ式負荷制御装置

鉛直方向に±200kN2本、水平方向に±300kNの各サーボアクチュエータとその制御盤及反力壁、反力ベースなどから構成されており、油圧源を使って静的及び動的(疲労)負荷試験を行う装置です。制御盤からさまざまな信号を入力でき、2軸方向への繰返し載荷試験や、地震波を想定した実験もできます。

Structural Engineering Laboratory

Multipurpose Servo Actuator Dynamic Testing Apparatus

The testing apparatus is composed of two vertical servo actuators of 200kN capacity, a horizontal servo actuator of 300kN capacity, a reaction wall and a base.

Activating the actuators under the electronic servo controlling system, various kind of static and dynamic loading tests can be performed.

Any applied load is generated by artificial signals or by actual earthquake records.

This apparatus enables us to simulate the characteristics of structures subjected to cyclic loading and earthquake loading.

地盤工学研究室

多目的高圧三軸試験機

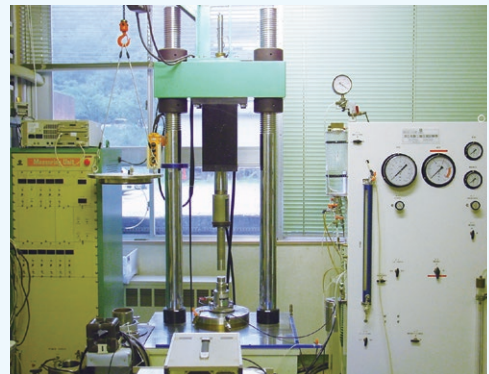
地盤を構成する粘土や砂や岩石などの圧密せん断特性を調べるために用いられる多目的高圧三軸試験機です。この試験機は、鉛直方向に最大500kN、拘束圧は最大20MPa負荷することが可能です。パソコンからの制御により、様々な載荷条件が設定でき、構造物を支持するときの静的な荷重、地震や交通荷重の動的な荷重など様々な荷重が地盤に作用したときの土の変形・強度特性を調べることができます。

Geotechnical Engineering Laboratory

Multi Triaxial Apparatus

This apparatus is used for research on characteristics of consolidation and shear strength of foundation materials, such as clay, sand, rock, etc.

The maximum load capabilities of this apparatus are 500kN for the vertical axis and 20MPa for the horizontal axis. Using a personal computer, various load conditions are setup, and soil mechanical properties can be investigated under various loads (static loads, such as bearing capacity when supporting a structure, and dynamic loads, such as earthquake, traffic load, etc.).



材料研究室

油圧サーボ式強度試験機(2台)、万能試験機、圧縮曲げ試験機

主に、岩石、木材、コンクリートおよび鉄筋コンクリート部材の変形や破壊挙動を調べるための材料試験機です。油圧サーボ強度試験機は試験力が静的450kN、動的300kNのものと静的12kN、動的10kNの2台を有しており、万能試験機と圧縮曲げ試験機の試験力はそれぞれ、2000kNと1000kNです。

Material Engineering Laboratory

Servohydraulic Testing System, Universal Testing System, Compressive and Bending Testing System

These systems consist of material testing apparatuses which are used to study the fracture behavior of concrete, rock, wood and reinforced concrete.

There are two servohydraulic testing apparatuses; one has the maximum loading capacity, 300kN for the dynamic loading and 450kN for the static loading, and the other has the maximum loading capacity, 10kN for the dynamic loading and 12kN for the static loading.

The maximum loading capacity for universal testing machine and compressive and bending testing machine are 2000kN and 1000kN respectively.

水理研究室

3次元角柱周辺の流れ構造の縦断面可視化装置

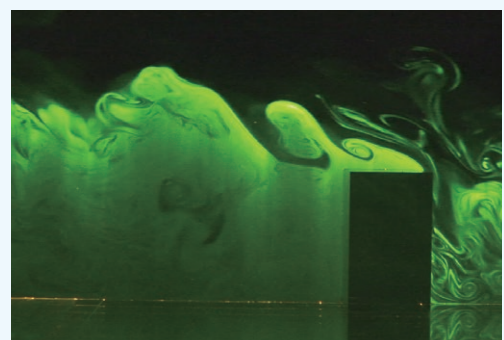
3次元角柱周辺の渦構造の縦断面可視化が示されています。たとえば円柱や角柱などのような物体の後流には多くの解明されていない流体力学の謎が残されていることがよく知られています。しかしながら、本研究室では、流れの可視化法とPIVを用いて、徐々に物体周辺に形成される渦構造とそれに誘起される流速の特性を明らかにしつつあります。

Hydraulics Laboratory

Side view of vortical structure near 3D rectangular cylinder visualized by halogen light sheet method.

This picture shows the side view of many vortical structure near 3D rectangular cylinder. It is known that wake flow of body, as in e.g. cylinder, rectangular cylinder have a lot of undiscovered problem.

But in this laboratory, this vortical structure and induced velocity characteristics near 3D rectangular cylinder gradually are elucidated by flow visualization technique and PIV.



一般科目

Liberal Arts Division

一般科目は、広い視野を持った優れた技術者を育成するために、豊かな教養を身につけることと、工学のそれぞれの分野の専門知識や技術を修得するために必要な学問的基礎を学ぶことを目的として設けられています。さらに、21世紀を生きぬく人間のための教養教育としての視点から、「個性豊かな文化を創造し、進んで国際社会の発展に貢献できる、主体性のある調和のとれた教養豊かな人間の育成」を総括目標とする教養課程を編成しています。

一般科目の履修単位数は、卒業に必要な総履修単位数のおよそ49%ですが、1年から3年までに、基礎教養科目を中心にその80%を履修し、さらに4年・5年では、専門性の高い教養科目を学ぶことになっています。

なお、昭和62年度(1987年度)から、1年生については、専門の授業科目を除き、学科の壁を取り除いた混合学級編成を行っています。また外国語教育では、外国人教師による指導や、会話における少人数クラス編成の授業も行われています。

The purpose of Liberal Arts subjects is to make our students well-educated engineers who have achieved basic knowledge of liberal arts, namely, humanities and academic subjects, which is essential to those who aim at obtaining technologies and skills of their own fields or majors. With the coming of the 21st century, we have updated our curriculum with a view to ultimate success in helping our students grow up to be technical experts with well-balanced educational background and identity. We hope our graduates will surely help create rich culture full of individuality and will be willing to contribute to the progress of international society.

Liberal Arts subjects amount to 49% of the total number of liberal arts credits required for graduation, and 80% of them are taken in the first three years as common basic knowledge of liberal arts for the three majors at our college. The fourth-year and the fifth-year students go on to take the rest of liberal arts subjects as well as most of their major subjects. Native speakers teach all of our English Conversation classes. Each of the second-year English Conversation class has been split up into two smaller-size classes.

Since 1987, our college has adopted what is called "Kongo Gakkyu", in which the first-year students are rearranged into three major-mixed classes so as to help them get acquainted with students of the other two majors as well.

教育課程 Curriculum

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別単位数 Credits by Year				
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th
必履修科目 Required Subjects	国語総合Ⅰ	Japanese I	4	4				
	国語総合Ⅱ	Japanese II	4		2	2		
	歴史	History	4	2	2			
	倫理	Ethics	2		2			
	政治・経済	Politics and Economics	2	2				
	哲学	Philosophy	2			2		
	数学ⅠA	Mathematics I A	3	3				
	数学ⅠB	Mathematics I B	3	3				
	数学ⅡA	Mathematics II A	3		3			
	数学ⅡB	Mathematics II B	3		3			
	数学ⅢA	Mathematics III A	2			2		
	数学ⅢB	Mathematics III B	2			2		
	※ 微分積分学Ⅰ	Differential and Integral Calculus I	1					1
	※ 微分積分学Ⅱ	Differential and Integral Calculus II	1					1
	※ ベクトル解析	Vector Analysis	1					1
	※ 線形代数	Linear Algebra	1					1
	生物基礎	Basis of Biology	2	2				
	物理基礎	Basic Physics	1	1				
	物理Ⅰ	Physics I	2		2			
	物理Ⅱ	Physics II	2			2		
	※ 応用物理	Physics	2				2	
	化学基礎	Basic Chemistry	2	2				
	化学Ⅰ	Chemistry I	1			1		
	化学Ⅱ	Chemistry II	1			1		
	体育	Physical Education	8	2	2	2	2	
	保健	Health Education	1	1				
	芸術	Art	2		2			
	基礎英語	Basic English	3	3				
総合英語Ⅰ	Comprehensive English I	4		4				
総合英語Ⅱ	Comprehensive English II	3			3			
総合英語演習Ⅰ	Comprehensive English Exercises I	2				2		
総合英語演習Ⅱ	Advanced English II	1					1	
英会話	English Conversation	3		1	1	1		
履修単位数計	Credits Required		77	25	25	16	10 9	1 2
選択科目 Elective Subjects	人文・社会	日本語コミュニケーション	1				1	
	中国文学	Chinesse Literature	1				1	
	歴史学	History	1					1
	心理学	Psychology	1					1
	人文社会特講	Special Lectures on the Humanities and the Social Sciences	2				1	1
	外国語	ドイツ語	3				2	1
	英語特別演習	English Seminar	1					1
	中国語	Chinese	3				2	1
	自然科学	※ 生物学	1					1
	※ 物理化学	Physical Chemistry	1					1
	※ 自然科学特講	Lectures on the Natural Sciences	1					1
	※ 応用解析学概論	Introduction to Applied Analysis	3					3
※ 応用数物演習	Seminar for Applied Mathematics and Physics	1					1	
開設単位数計	Credits Offered		20				13	7
履修単位数計	Credits Required		5				3	2
履修単位数合計	Total Credits Required		82	25	25	16	13 12	3 4
特別活動			3	1	1	1		



注① 4学年では人文・社会領域から2科目または外国語領域から1科目選択し、自然科学領域から1科目選択する。ただし、応用解析学概論は通年3単位、他科目は半期1単位で開講する。

注② 5学年では人文・社会領域から2科目または、人文・社会領域、外国語領域からそれぞれ1科目選択する。ただし、ドイツ語及び中国語は4学年で履修した科目を継続する場合に限り選択することができる。

ME：機械電気工学科 I E：情報電子工学科 CA：土木建築工学科

教員 Teaching Staff

職名 Title	氏名 Name	研究テーマ Subject of Research	専門分野 Field of Expertise	校務 School Affairs
教授 Professor	長戸 喜隆 NAGATO, Yoshitaka	ヘミングウェイの小説の文体論 Stylistic Analysis of Ernest Hemingway's Stories	英語文体論 English Stylistics 英語教育法 English Language Pedagogy	学科主任 Chief of Department
教授 Professor 理学博士 Dr.Sc.	大橋 正夫 OHASHI, Masao	二次電池正極活性物質の合成と特性 Preparation and Properties of Cathode Materials of Batteries	固体化学 Solid State Chemistry	専攻科幹事 Secretary of Advanced Course
教授 Professor 博士(学術) Ph.D.	天内 和人 AMANAI, Kazuhito	生物の発生に関わるシグナル伝達系の機能解析 Analysis of Inductive Signals during the Development of Multicellular Organisms	発生情報遺伝学 Developmental Genetics	副校長(教務主事) Vice President (Dean of Academic Affairs) 研究推進室員 Research Promotion Officer
教授 Professor 博士(文学) Ph.D.	一色 誠子 ISSHIKI, Seiko	室生犀星作品研究 A Study of Saisei Muro	日本近代文学 Japanese Recent Literature	校長補佐(学生主事) Assistant President (Dean of Student Affairs)
教授 Professor	柏倉 知秀 KASHIWAKURA, Tomohide	ハンザ商業史 Commercial History of Hansa	西洋中世史 Medieval History of Europe 西洋経済史 Economic History of Europe	1年1組担任 Class Teacher 学生相談室相談員 Counselor
嘱託教授 Professor on a short-term contract 博士(教育学) Ph.D.	吉留 文男 YOSHIDOME, Fumio	談話分析の観点からの説明的文章の読解指導 Instruction on the Reading of Expository Texts from Discourse Analysis Point of View	英語教育 English Language Teaching	
准教授 Associate Professor	谷本 圭司 TANIMOTO, Keiji	周南地域の漢詩文の研究 A Study of the Chinese style literature in Shunan area	中国文学 Chinese Literature	テクノ・リブッシュ教育センター参事 Associate Vice Director of Center for Collaborative Research and Education 国際交流協力教員 International Exchange Associate
准教授 Associate Professor 博士(数学) Dr.Math	米田 郁生 YONEDA, Ikuo	幾何的モデル理論 Geometric Model Theory	数学 Mathematics	図書館参事 Associate Vice Director of the Library
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sc.	浅野 真誠 ASANO, Masanari	量子情報理論 Quantum information theory 意思決定理論 Theory of decision-making	数理物理学 Mathematical Physics	教務主事補 Vice-Dean of Academic Affairs
准教授 Associate Professor	倉増 泰弘 KURAMASHI, Yasuhiro	英語学習に対する動機づけ Motivation toward learning English	英語教育 English Language Teaching	国際交流室員 International Exchange Officer
准教授 Associate Professor 博士(文学) Ph.D.	高橋 祥吾 TAKAHASHI, Shogo	アリストテレス哲学の研究 A Study of Aristotle's Philosophy	哲学 Philosophy	1年3組担任 Class Teacher
准教授 Associate Professor 博士(理学) Ph.D.in.Sc.	菊地 右馬 KIKUCHI, Yuma	中性子ハロー核、クラスター構造に関する理論研究 Theoretical study on neutron halo and cluster structure in atomic nuclei	原子核物理学 Nuclear Physics	寮務主事補 Vice-Dean of Dormitory Affairs
准教授 Associate Professor 博士(理学) Dr.Sc.	山本 拓生 YAMAMOTO, Takuo	光子の波動関数 Wave Function of a Photon 実在論の観点からの量子論 Ontological Interpretation of Quantum Mechanics	数理物理学 Mathematical Physics	1年2組担任 Class Teacher
助教 Assistant Professor 博士(芸術工学) Ph.D. in Design	宇野 直士 UNO, Tadashi	ヒトとモノのインタラクション、スポーツ科学 Interaction design, Sport science	人間工学 Human factors and ergonomics	学生主事補 Vice-Dean of Student Affairs
助教 Assistant Professor 博士(理学) Dr.Sc.	伊藤 祐太 ITO, Yuta	超弦理論に基づく初期宇宙のダイナミクスの数値的研究 Numerical study on dynamics of the early universe based on superstring theory	素粒子物理学 Particle Physics	キャリア教育支援室キャリアアドバイザー Career Advisor
助教 Assistant Professor 博士(理学) Ph. D. in Sc.	中村 康晴 NAKAMURA, Yasuharu	多自由度のある界面/表面における超伝導の理論研究 Theoretical Research of Superconductivity in Interface/Surface with Multiple Degrees of Freedom	物性物理学 Condensed Matter Physics	総合企画室主務 Planning and Coordination Officer 教育改善IR室員 Institutional Research for Educational Improvement Officer

非常勤講師 Part-time Lecturer

氏名 Name	担当科目 Subject	勤務先	
白井 文子 SHIRAI, Ayako	英語 English	徳山大学 Tokuyama University	
田中 数恵 TANAKA, Kazue	英語 English		
新枝 美帆 ATARASHI, Miho	英語 English		
池田 幸恵 IKEDA, Sachie	英語 English		
ダーシー・ドゥワイヤー DWEYER, Darcy	英語 English		
ペリー・チェインバース CHAMBERS, Perry	英語 English		
エドワード・マイケル・マッカーシー McCarthy, Edward Michael	英語 English		
徳永 彩理 TOKUNAGA, Sairi	中国語 Chinese		
長廣 恭子 NAGAIHIRO, Kyoko	数学 Mathematics		
唐松 良生 KARAMATSU, Yoshio	数学 Mathematics		
和田 善成 WADA, Yoshinari	歴史 History		
小川 礼子 OGAWA, Reiko	政治経済 Politics and Economics		
山田 哲生 YAMADA, Tetsuo	工芸 Industrial Arts		(株) 吉香窯
佐古 淳子 SAKO, Junko	美術 Fine Arts		
山本 伸 YAMAMOTO, Shin	書道 Art of Calligraphy		
古川 昭夫 FURUKAWA, Akio	音楽 Music		
時津 裕子 TOKITSU, Yuko	心理学 Psychology		
中谷 秀明 NAKATANI, Hideaki	体育 Physical Education	徳山大学 Tokuyama University	
田中 富美子 TANAKA, Fumiko	体育 Physical Education		
平畑 幸作 HIRAHATA, Kosaku	体育 Physical Education		
林 由美 HAYASHI, Yumi	日本語 Japanese Language		

専攻科とはなにか What is an Advanced Course ?

専攻科は高専5年間の課程卒業者を主たる対象者として、さらに深く教育研究が行えるように設けられた2年制の課程です。徳山高専には平成7年度に、全国で10番目に設置されました。

専攻科では一定の要件を満たせば、日本技術者教育認定機構（JABEE）の「設計情報工学」プログラムの修了認定を受けることができます。応用理学部門の技術士補となる資格が与えられ、技術士および国際的技術者への道が大きく広がります。また、一定の要件を満たすことで、大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位を得ることができます。大学の学部卒業者と同一資格を得ることができ、大学院への進学も可能となります。大学院では、学部卒業者とひと味違った活躍が期待されます。これまでの専攻科修了生の大学院での評価は高く、推薦入学を実施する大学院も増えてきています。

入学料は84,600円、年間授業料は234,600円です。これは高専本科と同じ金額であり、国立大学のおよそ4割です。したがって、本科から大学3年次へ編入するコースと比べると、経済的負担がずいぶん軽くなっています。

The advanced course is a two-year educational system that enables students who have graduated from regular course to pursue opportunities for advanced education and research. At present, 59 Colleges of Technology have the advanced course system. Tokuyama College of Technology added the advanced course system in 1995.

The students can obtain the JABEE certificate in Communication and IT-based Design Engineering and a bachelor's degree after the completion of the two-year advanced course and the JABEE program. The National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education certifies the degree. So the completion of the advanced course means that you are qualified as a Fundamental Engineer in Applied Science, which could successfully lead you to be a Professional Engineer and a world-class engineer in the future. After obtaining the bachelor's degree, the students can go on to a graduate school.

The entrance fee is 84,600 yen and the college tuition is 234,600 yen per year. They are both considered to be inexpensive in the Japanese higher educational system.

本校専攻科の特色 Features of Advanced Courses

1. 特別研究の重視・充実 Emphasis on Research

本科において卒業研究を重視・充実した方針を継続発展させ、本校専攻科でも特別研究を学修成果の集大成として位置づけています。専攻科では「さらに高度な開発能力」を育成するため、特別研究の成果の公表に関し、次の基本方針を定めています。

The most important objective is the “Advanced Research”. The advanced course encourages students to write their research papers. Research papers should be presented and published in domestic or international journals.

目標：学会誌への掲載
Final Goal : Publishing a Paper

単位取得要件：学協会での発表
Requirement : Presenting a Paper

特別研究の目標 Goal of the Advanced Research

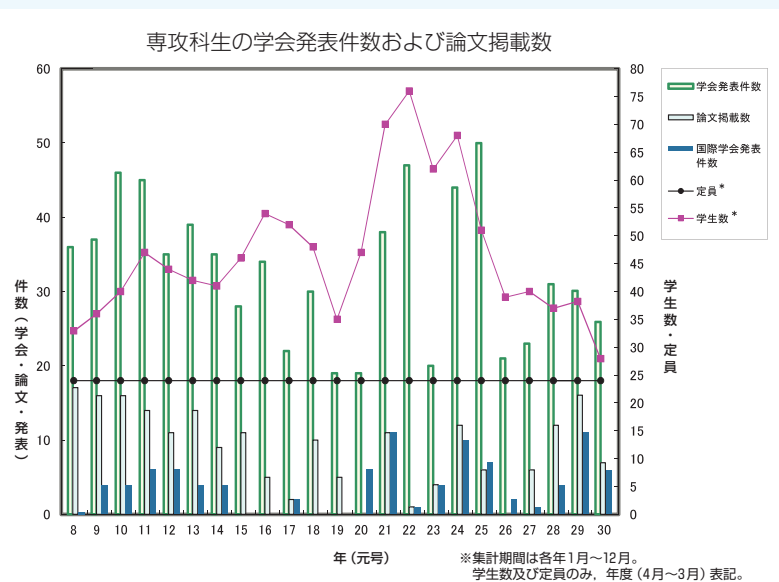
学内では2年次末に特別研究発表会を開き、論文集を刊行しています。なお、特別研究の指導はその資格を満たした教員が担当しています。

The graduation research reports are published every year. Faculty members who are qualified for the Advanced Research assist the students in their thesis.

2. 活発な学協会での発表 Publishing the Thesis

特別研究の成果は広く学協会に発表されており、その状況はきわめて活発です。学協会における講演発表は例年平均25~30件程度行われています。また学生の研究が学会から表彰される例も多く、目標としている「さらに高度な開発能力」を育成しつつあります。これらの実績は、学外からきわめて高い評価を受けています。

The advanced course encourages students to write their thesis papers. Students' research papers are often honored by academic societies.



3. 充実した教養科目

A Wide Variety of Liberal Arts

技術者として「世界に通用する」ためには、地球規模でいろいろなことを考え、行動することが強く求められています。コミュニケーション能力も、英語のみならず日本語に関しても、あるレベルまで養う必要があります。また、基礎科学の知識も広く修得しておくことが肝要です。さらに、リーダーシップのとれる技術者として、就業への心構えを整えることも重要です。これらの要求に対応できるよう、「技術者の倫理」「国際比較文化論」「日本語表現法」「生命科学」「産業論」など、充実した教養科目を開設しています。

In order to be a world-class engineer, one must be able to think and act globally. One should also have a command of English and good communication skills, even in Japanese. Besides an extensive knowledge of fundamental science, one should always be ready to work as an engineer with leadership quality.

A wide variety of liberal arts courses such as Engineering Ethics, Cross-Cultural Study, Japanese Technical Writing, Life Science and Current Industrial Issues is offered to train the students to be such world-class engineers.

4. 基礎学力、特に英語力の充実

Instilling Rudimentary Knowledge and Skills, Putting Special Emphasis on English Communication Skills

「世界に通用する」技術者になるためには、国際的な共通語である英語力の育成抜きにその実現は考えられません。本校専攻科では、その実現のため有用な多くの科目を開設し、具体的にはTOEICを対象に、次の基本方針を定めています。

It is necessary to have a command of English to be a world-class engineer. The advanced course system offers useful courses so that the students can fulfill the desirable score shown below.

目 標 : TOEICスコア470以上
Desirable Score : Over 470 in TOEIC Test

5. 実践力と結びついた知識の総合化と創造力の育成

Training Students to Use Their Extensive Knowledge Practically and Develop Their Creativity

高専では、「高度なモノづくりをなしうる実践力」を養うことをめざしています。それを可能にするには様々な知識が必要であり、特に本校がめざしている複合技術分野ではその必要性が増してきます。本校専攻科では、それらの実現には知識の総合化が不可欠であると考えており、そのためいくつかの総合科目や実験ならびに演習を準備しています。

また、創造力の育成も重要なポイントです。自主的に取り組む講義や演習を通じ、本科で培った創造力に総合力を加味し、さらに磨きをかけるよう努力しています。

One of the aims of technical college education is to ensure the students be able to produce things with technical prowess. Extensive knowledge is necessary for the students to achieve that aim, especially in interdisciplinary fields to which our college pays close attention. The advanced course provides the students with lectures, experiments and exercises useful for helping them use their extensive knowledge in a practical way.

Developing their creativity is also very important. Heuristic classes and exercises help students combine the extensive knowledge and creativity nurtured through the five-year regular study to hone their technical edge.

6. 密度の濃い長期インターンシップの実施

A Practical Internship Program

「実践力」のある「開発型」技術者として成長するためには、現実の課題に取り組む訓練を積むことがきわめて重要です。本校専攻科では、1年次の前期にインターンシップを行います。企業などで課題に取り組むことにより、社会で通用する知識を確認し、それらをさらにブラッシュアップするとともに、不足している知識を知り、新たな課題を見出すことにもなります。インターンシップをより有効に機能させるため、実習期間は約2ヶ月と長期間にわたります。

To be a good engineer requires experience in dealing with actual problems. As an opportunity for such experience, the advanced course assigns internships to all first-year students. They are required to work as interns at various companies and schools for about two months.

By tackling on-the-spot problems at companies, they will find what knowledge is useful, what skills need to be improved and how to solve future problems.

7. 情報関連等外部資格の取得

Passing Qualifying Examinations

本校では、教育プログラムのベースとなる情報技術及びこれまで学習した「実践的」な知識の客観的・総合的な評価のために、情報関連等外部資格の取得を推奨しています。主な資格は以下のとおりです。

To prove objectively that the advanced course students have gained enough practical knowledge and a good command of information technology, they are required to pass at least one of the following qualifying examinations.

- | | | |
|--------------|-------------------|-------------------|
| ・情報処理技術者試験 | ・CAD利用技術者試験 | ・二級建築施工管理技術検定（学科） |
| ・電気通信工事担任者試験 | ・機械設計技術者試験 | ・福祉住環境コーディネーター検定 |
| ・デジタル技術検定試験 | ・二級建築士 | ・土木学会認定2級土木技術者 |
| ・CG-ARTS検定 | ・二級土木施工管理技術検定（学科） | |

8. 社会人の受け入れ

Entrance of Engineers of Company

本校では、企業との共同研究を積極的に行う方針を打ち出しています。その意味からも、企業で活躍している社会人技術者に広く門戸を開放し、積極的に受け入れる体制をとっています。技術や知識のリフレッシュを主目的とする場合はもちろんですが、企業で抱えている問題にじっくり取り組むことも可能です。

National Institute of Technology, Tokuyama College encourages collaboration with companies providing opportunities for the engineers of companies to enter the advanced course. The advanced course enables engineers to resolve engineering problems that have arisen and to refresh their skills.

9. 入学者選抜方法

Peculiar Entrance Examination System

選抜方法は学校長の推薦による選抜、学力検査による選抜、社会人特別選抜の三とおりがあります。本専攻科の大きな特徴は、学校長推薦において卒業研究計画書の提出を課している点であり、研究面における基礎的素養ならびに研究への意欲を評価しています。

There are three entrance examination systems i.e., “Examination by Presidential Recommendation of Various Colleges”, “General Entrance Examination” and “Examination by Industrial Recommendation”.

志願者数と入学者数 Applicants and Admissions

入学年度	2015		2016		2017		2018		2019	
区分 Classification	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit	志願者 Apply	入学者 Admit
推薦選抜 Pres.Rec.	17	17	15	15	16	15	3	3	15	15
学力選抜 General Exam.	17	2	13	4	12	3	20	7	21	13
社会人特別選抜 Ind.Rec.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 Total	34	19	28	19	28	18	23	10	36	28

機械制御工学専攻

Mechanical and Control Engineering Course

機械制御工学専攻の教育目標は、「コンピュータで制御する機械を設計・開発する技術者の育成」です。本校の機械電気工学科あるいは他校の機械工学系及び計測制御工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、さらに専門性を高めるため「材料」、「エネルギー」、「情報」、「設計・加工」に関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop machines controlled by computers.

Mechanical and Control Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. It also offers elective subjects relating to materials, energy, information, and design and production to help the students develop their technical knowledge.

教育課程 Curriculum

授業科目		Subjects	単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
				1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2	
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2	
		産業論	Current Industrial Issues	2	2	
		経営管理	Business Administration	2	2	
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2
		教養必修科目小計	Subtotal	16	8	8
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2
英会話		English Conversation	2		2	
教養選択科目小計		Subtotal	4		4	
教養科目計		Subtotal	20	8	12	
専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2	
		物理科学	Physical Science	2	2	
		生命科学	Life Science	2		2
		機械制御工学専攻英語講読	Technical English of Mechanical and Control Engineering	2	2	
		専門基礎必修科目小計	Subtotal	8	6	2
	選択 Elective	応用統計学	Applied Statistics	2	2	
		工学解析	Engineering Analysis	2	2	
		離散数学	Discrete Mathematics	2		2
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2
		専門基礎選択科目小計	Subtotal	8	4	4
専門基礎科目計		Subtotal	16	10	6	
専門科目 Department Subjects	必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6	
		機械制御工学専攻総合実験	Experiment of Mechanical and Control Engineering	2	2	
		コンピュータ総合演習	Practice of Computer	2	2	
		機械制御工学専攻総合演習	Practice of Mechanical and Control Engineering	2		2
		応用研究	Applied research	2	2	
		特別研究	Thesis Work	6		6
		専門必修科目小計	Subtotal	20	12	8
	選択 Elective	弾性力学	Mechanics of Elasticity	2	2	
		材料強度学	Strength and Fracture of Materials	2		2
		生体機械力学	Dynamics and Biomechanics	2		2
#材料設計工学		Materials for Design	2		2	
流体制御工学		Fluid Control Engineering	2	2		
#熱流体工学		Dynamics of Heat and Fluid Flow	2		2	
#C A E		Computer Aided Engineering	2		2	
応用計測工学		Applied Measurement Engineering	2	2		
回路応用設計		Applied Circuit Design	2	2		
応用電磁気学		Applied Electromagnetism	2	(2)	(2)	
電気音響工学		Electroacoustics	2	(2)	(2)	
電気電子工学特論		Electrical and electronics engineering	2	(2)	(2)	
情報工学特論		Advanced Information Engineering	2	(2)	(2)	
システム制御工学	System Control Engineering	2		2		
#システム設計工学	System Design Engineering	2		2		
#ロボット制御工学	Robot Control Engineering	2		2		
認識工学	Pattern Recognition	2		2		
半導体電子工学	Semiconductor Electronics	2		2		
電子材料工学	Electronic Materials Engineering	2		2		
専門選択科目小計	Subtotal	38	8(16)	22(30)		
専門科目計		Subtotal	58	20(28)	30(38)	
合計		Total of Required Credits	94	38(46)	48(56)	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること】（ ）は当該学年で履修した場合

情報電子工学専攻

Computer Science and Electronic Engineering Course

情報電子工学専攻の教育目標は、「コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術者の育成」です。本校の情報電子工学科あるいは他校の情報工学系及び電子工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、高度化する情報化社会に対応するため、コンピュータを核とする「情報処理システム」、「情報通信システム」、「コンピュータ応用機器システム」などの融合システムに関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop various computer-based systems.

Computer Science and Electronic Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. In order to meet the needs of a highly-developed information-oriented society, it also offers elective subjects relating to compound systems, such as information processing system, information and communications system, and system for computer-applied machines.

教育課程 Curriculum

授業科目		Subjects	単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
				1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2	
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2	
		産業論	Current Industrial Issues	2	2	
		経営管理	Business Administration	2	2	
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2
	教養必修科目小計	Subtotal	16	8	8	
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2
		英会話	English Conversation	2		2
		教養選択科目小計	Subtotal	4		4
	教養科目計		Subtotal	20	8	12
	専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2
物理科学			Physical Science	2	2	
生命科学			Life Science	2		2
情報電子工学専攻英語講読			Technical English of Computer Science and Electronic Engineering	2	2	
専門基礎必修科目小計			Subtotal	8	6	2
選択 Elective		応用統計学	Applied Statistics	2	2	
		工学解析	Engineering Analysis	2	2	
		離散数学	Discrete Mathematics	2		2
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2
		専門基礎選択科目小計	Subtotal	8	4	4
専門基礎科目計		Subtotal	16	10	6	
専門科目 Department Subjects	必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6	
		情報電子工学専攻総合実験	Experiment of Computer Science and Electronic Engineering	2	2	
		生体情報工学	Biological Information Engineering	2	2	
		情報電子工学専攻総合演習	Practice of Computer Science and Electronic Engineering	2		2
		応用研究	Applied research	2	2	
		特別研究	Thesis Work	6		6
		専門必修科目小計	Subtotal	20	12	8
	選択 Elective	オートマトンと計算論	Automata and Computation	2	2	
		情報論理学	Logic and Software	2	2	
		#自然言語処理	Natural Language Processing	2		2
		認識工学	Pattern Recognition	2		2
		通信ネットワーク工学	Communication Network	2		2
		#コンピュータネットワークプロトコル	Computer Network Protocol	2		2
		光情報処理	Optical Information Processing	2		2
論理設計	Logic Design	2	2			
#コンピュータ構成学	Computer Architecture	2		2		
半導体電子工学	Semiconductor Electronics	2		2		
システム計測工学	System Measurement	2	2			
#メディア信号処理	Media Signal Processing	2		2		
制御工学	Control Engineering	2	2			
電子材料工学	Electronic Materials Engineering	2		2		
専門選択科目小計	Subtotal	28	10	18		
専門科目計		Subtotal	48	22	26	
合計		Total of Required Credits	84	40	44	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

環境建設工学専攻

Environmental and Civil Engineering Course

環境建設工学専攻の教育目標は、「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・開発する技術者の育成」です。本校の土木建築工学科あるいは他校の土木工学系に共通する自然科学、実験、演習、特別研究さらにインターンシップや英語に重点をおき、さらに専門性を高めるため「都市・交通」、「防災」、「環境」、「建築」に関連する選択科目を開設しています。

The course aims to educate the students to be able to design and develop infrastructure and architectural space, making the best use of computers.

Environmental and Civil Engineering Course puts an emphasis on natural sciences, experiments, practical training, advanced research and internship program. It also offers elective subjects relating to cities and traffics, disaster prevention, environment, and architecture to help the students develop their technical knowledge.

教育課程 Curriculum

授業科目		Subjects	単位数 Credits	学年別開設単位数 Credits you can acquire		
				1年 1st	2年 2nd	
教養科目 General Subjects	必修 Required	日本語表現法	Japanese Technical Writing	2	2	
		科学英語表現法	Technical English Writing	2		2
		技術者の倫理	Ethics for Engineers	2		2
		国際比較文化論	Cross-Cultural Study	2		2
		総合英語	Extensive English Exercises	2	2	
		産業論	Current Industrial Issues	2	2	
		経営管理	Business Administration	2	2	
		安全工学概論	Introduction to Safety Engineering	2		2
	教養必修科目小計		Subtotal	16	8	8
	選択 Elective	経営工学	Industrial Engineering	2		2
		英会話	English Conversation	2		2
		教養選択科目小計		Subtotal	4	
	教養科目計		Subtotal	20	8	12
	専門基礎科目 Department Fundamental Subjects	必修 Required	一般化学	General Chemistry	2	2
物理科学			Physical Science	2	2	
生命科学			Life Science	2		2
環境建設工学専攻英語講読			Technical English of Environmental and Civil Engineering	2	2	
専門基礎必修科目小計			Subtotal	8	6	2
選択 Elective		応用統計学	Applied Statistics	2	2	
		工学解析	Engineering Analysis	2	2	
		離散数学	Discrete Mathematics	2		2
		Engineering Mathematics	Engineering Mathematics	2		2
		専門基礎選択科目小計		Subtotal	8	4
専門基礎科目計		Subtotal	16	10	6	
専門科目 Department Subjects	必修 Required	インターンシップ	Internship	6	6	
		環境建設工学専攻総合実験	Experiment of Environmental and Civil Engineering	2	2	
		建設プログラミング	Programming for Construction Engineers	2	2	
		環境建設工学専攻総合演習	Practice of Environmental and Civil Engineering	2		2
		応用研究	Applied research	2	2	
		特別研究	Thesis Work	6		6
		専門必修科目小計		Subtotal	20	12
	選択 Elective	#耐震工学	Dynamic Analysis of Foundation	2		2
		鉄筋コンクリート特論	Advanced Concrete Technology	2		2
		構造設計論	Structural Design	2	2	
		連続体力学	Continuum Mechanics	2		2
		計算工学	Computational Mechanics	2		2
		土質力学	Soil Mechanics	2		2
		建築生産論	Building Production Theory	2	2	
		地形情報処理学	Geographical Information Processing	2	2	
		#耐震基礎構造学	Dynamic Analysis of Foundation	2		2
		水理科学	Hydraulics	2	2	
		応用水理学	Applied Hydraulics	2		2
		建築環境設計論	Architectural Environmental Design	2	2	
		#環境システム工学	Environmental System Engineering	2		2
		#住宅計画学	Planning of Housing	2	2	
		#都市環境計画学	Urban and Environmental Planning	2		2
#建築設計計画学	Architectural Design and Planning	2		2		
専門選択科目小計		Subtotal	32	12	20	
専門科目計		Subtotal	52	24	28	
合計		Total of Required Credits	88	42	46	

専攻科修得単位数 66単位以上修得【必修44単位（教養科目16単位、専門基礎科目8単位、専門科目20単位）、選択22単位以上（専門基礎科目2単位以上、専門科目20単位以上、ただし総合科目（#印）を4単位以上修得すること）】

図書館は学術研究支援と教育資料の収集を目的として設置されています。本校の図書館は、学校の中心部に位置し利用者にとって便利であると共に周南市街や瀬戸内海の美しい景色が一望できます。閲覧室には、約3万8千冊の図書と340種類の雑誌などがあり、学生証で借り出しができます。また、パソコンを利用して学内外の資料の検索が可能です。

Our college library is in the administration office building. From the library you can see a beautiful view of the Inland Sea and Shunan City.

About 38,000 books (including 800 books in foreign languages) and 340 magazines of various kinds are housed in an open air-conditioned room.

Students can borrow books with their ID cards. Literary references are easily through computers.

開館時間

月曜日～金曜日 9時～19時
土曜日 9時～12時 (学校が定める日のみ)

(春季、夏季、冬季、学年末の休業期間中は)
月曜日～金曜日 9時～17時
土曜日 休館

休館日

日曜日・国民の祝日
年末・年始 (12月28日～1月4日)

Open

Monday ~ Friday 9:00-19:00
Saturday 9:00-12:00

(Spring, Summer & Winter Vacations)
Monday ~ Friday 9:00-17:00
Saturday Closed

Closed

Sunday, National holidays
New year's holidays (Dec.28 - Jan.4)

蔵書冊数 (平成31年3月31日現在)

Collections of Books (As of March 31, 2019)

	図書(冊) Books (Vols)	雑誌(種類) Periodicals (Kinds)	その他の資料(点) Other Materials (Kinds)
和漢書 Japanese	76,178冊	613種	1,047点
洋書 Foreign	10,410冊	251種	179点
合計 Total	86,588冊	864種	1,226点



情報処理センター

Information Processing Center

情報処理センターは、外部接続回線、校内LANシステムおよび学内共有の教育用電算機システムの管理・運用を担当します。校内の全ての部屋にネットワークの接続口である情報コンセントが設置されており、校内のどこからでもネットワークに接続できます。

平成25年4月より、新校内LANシステムの運用を開始しました。これまでのシステムに比べて、サーバを仮想化したことが主な特徴です。併せて、高専機構が各高専に導入した認証サーバを用いて、教職員および学生の認証を一元管理しています。

さらに、同年、教育用電算機システムも新しくなりました。ネットブート方式を採用し、OSやソフトウェアの更新作業の更なる効率化を図り、最新のソフトウェアを提供する環境を整えています。学生が自由に利用できるネットワーク端末（パソコン）が情報処理センターのパソコン室に合計100台用意されています。放課後（19時まで）は学生相談員が常駐し、学生は課題やレポートの作成などで、大いに利用しています。

The information-processing center manages and operates externally-connected lines, the school LAN system, and the educational computer system shared in school. All the rooms are now equipped with network sockets, so that you can connect any computer to the LAN.

The center started operating a new school LAN system in April of 2013. Compared with the previous system, the new system is marked by the virtualized server. Also, it centrally controls the authentication of faculty members and students, using the authentication server the headquarters of institute of national colleges of technology have introduced in each college.

In addition, we have renewed the educational computer system. Since it adopts the NetBoot method, it can update the OS and the software more efficiently, providing you with the latest software. The computer room in the center has a total of 100 personal computers that students can use freely. Senior students who are good at using computers are assigned to work as assistants for other students until 7 p.m. After school the center is full of students who are doing their homework and writing their papers.

情報処理センター管理システム Computer Systems of Information Processing Center

高専機構共通システム Administration System for National Institute of Technology	ファイアウォール、認証サーバ、ADサーバ、ネットワーク認証サーバ、内部DNS/DHCP/NTP/SMTPサーバ、ログ管理サーバ、システム監視サーバ、ウイルス対策管理サーバ、電源制御サーバ、バックアップサーバ、無線LAN統合管理サーバ	FortiGate 500D	1台
		PRIMERGY RX2530M2	2台
		QNAP TS-453U-RP	1台
		Cisco ONE WLC 2504	1台
校内LANシステム LAN Control System	DNSサーバ、Mailサーバ、Webサーバ、Webメールサーバ、スパムフィルタサーバ、アンチウイルスサーバ、バックアップサーバ、Syslogサーバ、ファイルサーバ、ADサーバ等	仮想化用サーバ ProLiant BL460c Gen8	3台
		共有ストレージサーバ StorageWoks P4500G2	2台
		バックアップサーバ ProLiant DL380p Gen8	1台
教育用電算機システム Computer Systems for Educational Use	ADサーバ	ProLiant DL360e Gen8	1台
	ファイルサーバ	ProLiant DL360p Gen8	1台
	ネットブートシステムサーバ	ProLiant DL360e Gen8	3台
	学生用クライアントPC	Compaq Elite 8300 SFF PC	102台
	教師用クライアントPC	Compaq Elite 8300 SFF PC DTU-2231AA	2台 2台



テクノ・リフレッシュ教育センター

Center for Collaborative Research and Education

徳山高専が位置する周南地域（山口県東南部）は山口県での技術と企業の一大集積地です。徳山高専に対して周南地域唯一の工業系高等教育機関として多くの期待が寄せられています。

テクノ・リフレッシュ教育センターは、地域連携の拠点をめざして、技術相談、共同研究、各種セミナー等による技術交流の促進及び各種人材育成プログラム等による生涯学習の支援のための活動を行っています。特に、会員企業と徳山高専により構成される「徳山高専テクノ・アカデミア」では、これらのことをさらに進める特別な事業を展開しています。

Shunan is a great integrating area of technology and enterprises in Yamaguchi prefecture.

A large expectation is placed on National Institute of Technology, Tokuyama College a unique advanced educational institution of technology in Shunan area.

The objectives of the Center are to assist with the arrangement and accomplishment of cooperative projects, to be a consultant of technical problems for private enterprises and to hold refresher education for professionals.

Our college plays a vital role in research and development, and construction activities of Shunan area.

目的

山口県と周南地域の諸機構、大学、他高専等と連携して、地域産業界との技術交流や地域市民の生涯学習支援を推進することにより、徳山高専の教育研究の充実発展に寄与し、併せて地域社会に貢献する。

産官学技術交流

（１）技術相談

科学技術相談のみならず、地域社会の様々なニーズに関する相談に対応しています。また、徳山高専テクノ・アカデミア事業の一環として、徳山高専の教員が企業に出向いて交流を実施し、企業の抱えている課題等の解決策を探る技術相談にも積極的に応じています。

（２）各種セミナー・講演会の開催

徳山高専テクノ・アカデミア事業として、技術セミナー、特別セミナー及び特別講演会を開催しています。

（３）共同研究の推進

企業・団体等が徳山高専と行う共同研究、受託研究、試験研究等を仲介するとともに、その実施を支援します。徳山高専テクノ・アカデミア事業の中にも独自の共同研究制度があります。

（４）研究会活動の支援

地域の企業ニーズを集約し、産業振興のブレークスルーとなるような製品や商品の研究開発を目指して、個別の課題毎に産官学からなる小規模の研究会を設立し、その活動を支援します。

生涯学習支援

（１）人材養成講座（出前講座を含む）

徳山高専テクノ・アカデミアと共同で企業の若手技術者の人材育成を目的とした基礎技術講座を開設し、地元産業界の技術者育成を支援しています。

（２）公開講座・出前授業

小・中学生を対象とした「サイエンス・ピクニック」、「英語講座」などの公開講座、「防災出前授業」などの出前授業を毎年実施しています。この他にも、科学技術の振興を図ることを目的とした講座や、サテライトでのイベントを開催しています。

主な活動状況

活動状況については「教員の研究活動」、「社会との連携」のページをご覧ください。



徳山高専では、社会に対する教育の質を保証することを目的として、この目的の達成に必要な教員の教授能力や技能を向上させるための研修を実施しています。

In order to guarantee the quality of education for students, we conduct training to improve the educational skills.

教育関係FD活動実績(平成30年度) Professional development for educators in Tokuyama College

開催日	演題等	講師等
2018年4月2日	Teaching Effectively in English(英語で効果的に教えるために)	(株)アルク グローバル人材開発コンサルタント 吉中昌國氏
2018年6月8日	教育コーチング研修	(有)イーポック 岡清和氏(メイントレーナー)、橋本直子氏(サブトレーナー)
2018年7月13日	アクティブラーニングの推進とは?	仙台高等専門学校 総合工学科 教授 矢島邦昭先生
2018年12月19日	アクティブラーニング型模擬授業「産業革命の光と影」	関西学院千里国際中等部・高等部 教諭 米田謙三先生
2018年12月26日	「『～を』から『～で』へのパラダイムシフトの必要性」	鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系 教授 国重徹先生
2019年3月5日	「先生が変われば生徒も変わる」	武蔵野女子学院中学校・高等学校 校長 日野田直彦先生
2019年3月14日	CTT+準拠 基礎研修	(株)ビズコム 鹿野晴夫氏
2019年3月25日	異文化コミュニケーション研修	(株)アルク Anthony Bellington氏

その他FD活動 The other professional or staff development in Tokuyama College

開催日	演題等	講師等
2018年9月12日	情報セキュリティ研修—Office365の活用	徳山工業高等専門学校 教員
2018年10月2日	平成31年度科学研究費助成事業に関する説明会	徳山工業高等専門学校 地域連携推進係

学外へのFD活動参加 Participation in Faculty Development outside Tokuyama College

開催日	参加研修名等	実施団体・組織等
2018年5月13日	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	日本高専学会
2018年6月6日～7日	新任教員研修会	国立高等専門学校機構
2018年8月6日～8日	中堅教員研修	国立高等専門学校機構
2018年8月29日～31日	SPODフォーラム2018	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)/香川大学
2018年9月5日～6日	高等専門学校教員研修会(管理職研修)	国立高等専門学校機構
2018年12月6日～7日	中国地区国立高等専門学校教員研修(概ね着任5年程度)	宇部工業高等専門学校
2019年3月2日～3日	第24回FDフォーラム	大学コンソーシアム京都

教員の研究活動

Research Activities

(1) 科学研究費助成事業応募状況 Number of Applicants Scientific Research 注：() は継続課題で内数

種目 年度	基盤研究 (B)	基盤研究 (C)	挑戦的研究 (開拓)	挑戦的研究 (萌芽)	挑戦的 萌芽研究	若手研究 (A)	若手研究 (B)	若手研究	研究活動 スタート支援	学術図書	奨励研究	計
29 申請		19(6)	1	9	1(1)	1(1)	6(3)		3	3	11	54(11)
29 採択		9(6)		1	1(1)	1(1)	3(3)				2	17(11)
30 申請		21(7)	1	3(1)	1(1)		3(3)	6		1	10	46(12)
30 採択		9(7)		1(1)	1(1)		3(3)				4	18(12)

(2) 科学研究費助成事業採択状況 Grant-in-Aid for Scientific Research (単位：千円)

年度 Year	研究種目 Research Items	研究課題 Research Theme	交付額 Funds
平成30 2018	基盤研究(C)	CubeSatを利用した学士課程向けエンジニアリングデザイン教育システムの開発	1,690
	基盤研究(C)	ミクロなスラリー循環流れの制御および好適化による研磨能率の向上	2,080
	基盤研究(C)	特例子会社-教育機関の産学連携による次世代人材育成に関する調査・実践研究	650
	基盤研究(C)	超音波振動による衝撃吸収特性の解明	910
	基盤研究(C)	省メモリ下における計算の効率化と基本的諸特性の理論的解明	390
	基盤研究(C)	質の高い情報通信技術者を育成するための総合的なカリキュラムの開発と普及	650
	基盤研究(C)	小型船舶の情報孤立を防ぐための簡易AISを用いたG空間情報活用システムの構築	780
	基盤研究(C)	超音波を利用した浚渫土の減容化技術の開発に関する研究	2,600
	基盤研究(C)	地域の老朽化鋼橋における耐荷性能の解析的検証～「あと●年」のニーズに応える～	1,430
	挑戦的研究(萌芽)	テープヒータ電力線を利用した園芸農業無線センサデバイス用非接触給電システム	1,300
	挑戦的萌芽研究	学校・地域社会・行政の連携による通学路安全対策の仕組みづくりに関する実践的研究	650
	若手研究(B)	身体の力学的特性と姿勢が歩行中の関節間シナジーに及ぼす影響とその対策の検討	1,170
	若手研究(B)	「水と霧に触れる」総合的インタラクション技術の基盤確立	910
	若手研究(B)	ハンズフリー音声認識・視線検出による上肢不自由者への文書作成支援の確立	910
	奨励研究	視認性の良いバックライト型案内板の開発	410
	奨励研究	土系舗装の高硬化化による遮熱性および耐候性に関する研究	530
	奨励研究	即戦力型技術者育成を目的とした体験的シーケンス制御学習環境の構築	530
奨励研究	「プログラミング的思考と電子回路を身近に感じる」小学生からのIoT学習教材の開発	530	

(3) 寄附金受入状況 The Amount of Donations Received (単位：千円)

平成26年度 2014		平成27年度 2015		平成28年度 2016		平成29年度 2017		平成30年度 2018	
件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds	件数 Number	金額 Funds
36	7,262	35	8,963	40	8,368	42	7,843	55	11,735

(4) 共同研究受入状況 Joint Research with Private Enterprises

年度 Year	研究題目 Research Theme	研究方式 Form
平成30 2018	自主防災育成活動の実践と評価	分担型
	ATTAC工法による施工管理のための評価・測定法に関する研究	
	人工降雨試験装置による侵食防止機能評価方法の改良に関する研究	
	有効成分含有量の高い甘草属植物の種苗と系統識別技術の開発	
	日本の環境に適した小型乳用山羊の系統造成	
	早期解放型排水性コンクリート舗装に関する研究	
	品質の良いコンクリート構造物を造るための伝承教材に関する研究	
	各種SKD11系材料とそれらに表面処理を行った改質材の疲労特性と各種機械特性の検討	
	片耳難聴者用デジタル集音器アプリの開発	
	業務効率化のための文書活用技術に関する研究	
	自動車シートを用いた人体骨格アライメントの分析及び骨格モデル化に関する研究	
	次世代AIS用新規アプリケーションの研究開発	
	自己加温制御機能を付加した育苗用プレートヒーターの開発	
	水分逸散防止養生工法(美シール®工法)における耐久性向上効果の検証	
	自社工場製造の火山灰を主原料とした天然無機質系凝集剤とヘドロ・建設汚泥用凝集固化材のNETIS登録のための性能評価に関する研究	
	浄化機能を付加したアルキメデス・ポンプの設計・製作	
	ポルタリングタワー塔頂部の耐力評価に関する研究	
	薄板金属加工技術の生産手法に関する基礎研究Ⅱ	
	バイオメカニクス解析技術を用いた先進的清掃プロジェクト	
	モニュメント支持構造の強度評価に関する研究	
超音波振動利用のダイヤモンドダイス研磨機の開発		
自由度の大きいクランプの開発に関する研究		
木製梱包長箱の強度解析、評価試験による設計・製造法の改善		
自社工場製造のマグネシウム系固化材と竹繊維を用いた土系舗装材「雑草アタックス」製品の配合研究並びに膨張特性の解明		
汎用流れ解析ソフトを利用した研磨シミュレーション技術の開発		
スラグ細骨材の法面吹き付け材への適用		
軽仮設材の設計・開発に関する研究		
浄化機能と揚水性能を向上させたアルキメデスポンプの設計・製作		

(1) 徳山高専テクノ・アカデミア事業

What the Techno Academia Has Done with or for Local Companies

・アカデミア共同研究

年度 Year	研 究 題 目 Research Theme
平成30 2018	浄化機能を付加したアルキメデスポンプの設計・製作
	片耳難聴者用デジタル集音器アプリの開発
	各種SKD11系材料とそれらに表面処理を行なった改質材の疲労特性と各種機械的性質の検討
	自己加温制御機能を付加した育苗用プレートヒーターの開発
	業務効率化のための文書活用技術に関する研究
	人工降雨試験装置による侵食防止機能評価方法の改良に関する研究
	薄板金属加工用治具の設計・製作に関する基礎研究

・産学連携研究会（平成30年度）

研究テーマ	対象	日程	参加者数	会場
プラント設計のための技術力アップ研究会	企業の技術者	7月20日, 8月 8日, 10月17日, 11月21日, 12月19日, 1月23日, 2月20日	延べ45名	徳山高専
地盤防災について		5月18日, 9月28日, 1月25日, 2月15日	延べ40名	徳山高専
製造業における人材育成に関する基礎研究会Ⅱ		1月26日, 3月 7日	延べ20名	徳山高専

(2) 公開講座等（平成30年度）

Extension Courses (2018)

講 座 名 Course Name	対 象 Level	日 程 Period	会 場 Place
いんぐりっしゅ☆る～む	市民一般	月3回程度金曜日	徳山駅前賑わい交流室
パソコン若葉相談室	市民一般	月2回程度月曜日	徳山駅前賑わい交流室
徳山高専技術教室 「親子で楽しむプログラミング～自動運転に挑戦」	小学3年生～ 6年生	4月22日	徳山高専
電卓を使って数学を楽しんじゃおう！	中学生	7月30日	徳山高専
サイエンス・ピクニック～小学生のための技術教室 A(なんでも切ります, 削ります!・超簡単モ ータを作ってみよう) B(プログラミングで光を操ろう) C(親子で楽しむプログラミング～自動運転に挑戦) D(ひみつ基地づくり)	小学生	8月 3日	徳山高専
まちなかの学生設計発表会	市民一般	8月 7日	徳山駅前賑わい交流室
ロボット製作教室	小・中学生	8月18日・8月22日 8月25日・8月28日 8月30日・9月 1日	徳山高専 岐山市民センター 勝間市民センター 須々万市民センター
親子でプログラミングとIoT体験	小学4年生～ 6年生	8月21日・12月22日	徳山高専
親子で挑戦! サウンドプログラミング	小学5年生～ 6年生	9月 8日	徳山高専
中・高連携バレーボール教室	中学校バレーボール 山口県選抜選手	10月14日	徳山高専
はなれたところに力をつたえよう ～空気圧と油圧のふしぎ～	小学生	11月17日	徳山高専

クリスマス箱庭製作教室	市民一般	12月 8日	徳山高専
英語講座(中学英語の重要点マスター) ー重要ポイントを確認して実力アップ!ー	中学3年生	1月 5日	徳山高専
まちなかの小さな卒研発表会	市民一般	3月 8日	徳山駅前賑わい交流室
IoT プートキャンプ 初級Aコース・初級Bコース・中級・上級	小学3年生～ 中学生	3月23日・3月24日	徳山高専

(3) 夏休みジュニア科学教室（主催：夏休みジュニア科学教室実行委員会）（平成30年度）

Science Courses Offered for Children during Summer Vacation (2018)

講座名 Course Name	対象 Level	日程 Period	受講者数 Number	会場 Place
金めっきと銅めっきの実験	小学5年生～ 中学生	7月22日	20名	徳山高専

(4) 地域からの依頼による工作教室等（平成30年度）

Science and Engineering Classes Offered for the Local Communities (2018)

依頼機関等 Requested by ~	内 容 Course Name	対 象 Level	日 程 Period	場 所 Place
防府市青少年科学館	サイエンスアカデミー 「スプーンに金と銅のめっき」 「地盤の不思議を体験しよう」 「地球が引っばる力を調べよう」	小学5年生 ～中学生	7月15日・7月21日 7月27日	防府市青少年科学館
山口県教育委員会	専門家と連携した防災出前授業	県内小・中学生	6月26日～1月18日	岩国市立灘小学校他
学校法人徳山中央幼稚園	ロボット出前授業	幼稚園	9月 7日	学校法人徳山中央幼稚園
周南市立徳山小学校	徳山小学校SPP事業 ～ライトレース ロボットのプログラミング～	小学生	9月20日	周南市立徳山小学校

(5) 公的な機関からの依頼による各種委員等（平成30年度）

Committee Member Posts Appointed by Public Organizations

依頼機関	Requested by ~ / 内容	Name of the Committee or the Course
文科省	東南アジア教育大臣機構センターへの専門家短期派遣事業講師	
国土交通省	中国地方整備局総合評価審査委員会山口県部会委員	
山口県	技術アドバイザー	
山口県	山口県屋外広告物審議会委員	
山口県	山口県公共事業評価委員会委員	
山口県	山口県大規模小売店舗立地協議会委員	
山口県	山口県土木建築部建設工事総合評価審査委員会委員	
山口県	山口県産業技術振興奨励賞選考委員会委員	
山口県	山口県学校安全アドバイザー	
山口県教育委員会	山口県文化財保護審議会委員	
山口県教育委員会	専門家と連携した防災授業講師	
山口地方裁判所	専門委員	
岩国市	岩国市錦帯橋世界文化遺産専門委員会委員	
岩国市	岩国市文化財審議会委員	
柳井市	柳井市都市計画審議会委員	
光市	光市環境審議会委員	
光市	光市廃棄物減量等推進審議会委員	
光市	光駅周辺地区拠点整備基本構想検討会議委員	
光市	光市都市計画審議会委員	
下松市	下松市空家等対策協議会委員	
下松市	下松市地域公共交通活性化協議会委員	
下松市	下松市都市計画審議会委員	
下松市	下松市緑化審議会委員	
下松市	旗岡市営住宅建替設計業務プロポーザル審査委員会委員	
周南市	周南市空さ家等審議会委員	
周南市	周南市行政改革審議会委員	
周南市	周南市景観審議会委員	
周南市	周南市建築審査会委員	
周南市	周南市ごみ対策推進審議会委員	
周南市	周南市市民参画推進審議会委員	
周南市	周南市人権施策推進審議会委員	
周南市	周南市男女共同参画審議会委員	
周南市	周南市文化財審議会委員	
周南市	周南市防災会議委員	
周南市	周南市地域公共交通会議委員	
周南市	周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員	
周南市	周南市都市計画審議会委員	
周南市	周南市都市再生推進協議会委員	
周南市	周南市入札監視委員会委員	
周南市	周南市まちづくり総合計画審議会委員	
防府市	防府市空家等対策協議会委員	
防府市	防府市景観賞選考委員会委員	
防府市	防府市景観審議会委員	
防府市	防府市地域公共交通活性化協議会委員	
防府市	防府市農業振興地域整備促進協議会委員	
防府市	防府市立地適正化計画策定委員会	
宇部市	宇部市新庁舎建設基本・実施設計アドバイザー	
下関市	下関市景観審議会デザイン委員会委員	

(1) 学科定員及び現員 Quota and Enrollment in Departments

平成31年4月1日現在
As of Apr. 1, 2019

学 科 Department	区分 Classification	入学定員 Quota	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	計 Total
機 械 電 気 工 学 科 Mechanical and Electrical Eng.		40	43(5)	45(1)	44(2)	41(3)	39(2)	212(13)
情 報 電 子 工 学 科 Computer Science and Electronic Eng.		40	48(12)	51(19)	41(12)	39(6)	43(13) <1 (1)>	222(62) <1 (1)>
土 木 建 築 工 学 科 Civil Eng. and Architecture		40	45(21)	42(23)	43(19) <1>	45(16) <1>	41(17) <1>	216(96) <3>
計 Total		120	136(38)	138(43)	128(33) <1>	125(25) <1>	123(32) <2 (1)>	650(171) <4 (1)>

() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(2) 専攻科定員及び現員 Quota and Enrollment in Advanced Course

平成31年4月1日現在
As of Apr. 1, 2019

専 攻 Course	区分 Classification	入学定員 Quota	1年 1st	2年 2nd	計 Total
機 械 制 御 工 学 専 攻 Mechanical and Control Engineering Course		4	11	5	16
情 報 電 子 工 学 専 攻 Computer Science and Electronic Engineering Course		4	11	2	13
環 境 建 設 工 学 専 攻 Environmental and Civil Engineering Course		4	6(4)	3	9(4)
計 Total		12	28(4)	10	38(4)

() は女子学生内数 Female Students

(3) 学科別入学志願者状況 Number of Applicants in Departments

区分 Classification		学 科 Department	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	計 Total
平成29 2017	志願者 Applicants		102 (5)	130 (29)	118 (37)	350 (71)
	入学者 Students Admitted		41 (2)	42 (13)	41 (19)	124 (34)
	倍 率 Ratio of Competition		2.6	3.3	3.0	2.9
平成30 2018	志願者 Applicants		97 (4)	125 (30)	141 (49)	363 (83)
	入学者 Students Admitted		44 (1)	50 (19)	42 (23)	136 (43)
	倍 率 Ratio of Competition		2.4	3.1	3.5	3.0
平成31 2019	志願者 Applicants		82 (6)	113 (36)	102 (37)	297 (79)
	入学者 Students Admitted		43 (5)	46 (12)	45 (21)	134 (38)
	倍 率 Ratio of Competition		2.1	2.8	2.6	2.5

() は女子学生内数 Female Students

(4) 専攻別入学志願者状況 Number of Applicants in Advanced Course

区分 Classification		専 攻 Course	機械制御工学専攻 MC	情報電子工学専攻 CE	環境建設工学専攻 EC	計 Total
平成29 2017	志願者 Applicants		4	10	14 (2)	28 (2)
	入学者 Students Admitted		3	4	11 (1)	18 (1)
平成30 2018	志願者 Applicants		10	9 (1)	4 (1)	23 (2)
	入学者 Students Admitted		5	3	2	10
平成31 2019	志願者 Applicants		15 (1)	12 (1)	9 (5)	36 (7)
	入学者 Students Admitted		11	11	6 (4)	28 (4)

() は女子学生内数 Female Students

(5) 本科出身地別在学生数 Hometown Classification of Students

地域 Region	学年 Grade	1年	2年	3年	4年	5年	合計 Total
岩国市 Iwakuni		12 (2)	8 (4)	16 (4)	8 (2)	8 (2)	52 (14)
玖珂郡 Kuga		3		1	1	1 (1)	6 (1)
柳井市 Yanai		1 (1)	4 (1)	3	5 (1)	3 (1)	16 (4)
熊毛郡 Kumage		2	5 (3)	4 (2)	2	1 (1)	14 (6)
下松市 Kudamatsu		20 (3)	21 (5)	17 (5)	20 (7)	33 (6)	111 (26)
光市 Hikari		12 (4)	19 (6)	8 (3)	11 (3)	14 (6)	64 (22)
周南市 Shunan		60 (22)	55 (20)	46 (11)	50 (10)	31 (10)	242 (73)
山口市 Yamaguchi		12 (3)	9	9 (2)	6	4 (1)	40 (6)
防府市 Hohu		10 (2)	11 (2)	16 (5)	15 (2)	16 (1)	68 (12)
宇部市 Ube		1 (1)	2 (1)			2	5 (2)
山陽小野田市 Sanyoonoda		1					1
美祢市 Mine					1		1
下関市 Shimonoseki		1		1	2	2 (1)	6 (1)
萩市 Hagi						1	1
長門市 Nagato			2	2 (1)		1	5 (1)
島根県 Shimane Pref.				2	2	2	6
岡山県 Okayama Pref.				1			1
広島県 Hiroshima Pref.		1	2 (1)	1	1	1 (1)	6 (2)
在外教育施設 Japanese Schools				1			1
外国人留学生 Foreign students				1	1	2 (1)	4 (1)
計 Total		136 (38)	138 (43)	129 (33)	125 (25)	122 (32)	650 (171)

() は女子学生内数 Female Students

(6) 修学経費 (平成31年度) Educational Cost (2019)

学科入学生 For the Students of Regular Course

入 学 料	84,600円	実習服・製図用具等	約 35,000円
授 業 料 (年 額)	234,600円	学生傷害保険料等	約 11,500円
教 科 書	約 45,000円	そ の 他 諸 経 費	約 55,000円
体 育 服 等	約 19,000円	合 計	約 485,000円

Entrance Fee 84,600yen Tuition 234,600yen Textbooks 45,000yen Sports wear etc. 19,000yen

Trainee Uniform and Drawing gear 35,000yen Premium 11,500yen Other 55,000yen Total 485,000yen.

専攻科入学生 For the Students of Advanced Course

入 学 料	84,600円	教科書・実習服等	約 30,000円
授 業 料 (年 額)	234,600円	学生傷害保険料等	約 6,000円
		合 計	約 355,200円

Entrance Fee 84,600yen Tuition 234,600yen Textbooks etc. 30,000yen Premium 6,000yen Total 355,200yen.

(7) 高等学校等就学支援金制度 High School Tuition Support Fund System

国立高等専門学校(1~3年生)も本制度の対象となっており、授業料の支援として「都道府県民税所得割額」と「市町村民税所得割額」の合算が50万7,000円未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。また都道府県民税及び市町村民税の所得割額に応じて就学支援金の加算があります。(平成30年度現在)

First, second and third-year students at national colleges of technology are eligible for the government support fund. Household incomes less than 507,000yen in income-linked prefectural and municipal taxes are eligible for curriculum fee assistance from the "Tuition Support Fund".

Additional amount can be added to Tuition Support Fund according to prefectural and municipal income tax reductions.(As of 2018 fiscal year)

(8) 奨学制度 Scholarships

経済的理由により修学が困難な学生に学資を貸与する各種の奨学制度があります。代表的なものは日本学生支援機構の奨学制度があります。人物・学業に優れた学生に貸与されます。

There are mainly two types of scholarships. One is JASSO scholarship and the other is Local scholarship.

本科奨学生 (平成30年度)

区 分	学 年	1年	2年	3年	4年	5年	計
日本学生支援機構		3	6	2	7	7	25
その他奨学制度		1	3	0	4	4	12
計		4	9	2	11	11	37

専攻科奨学生 (平成30年度)

区 分	学 年	1年	2年	計
日本学生支援機構		2	0	2
その他奨学制度		1	0	1
計		3	0	3

(9) 授業料減免制度 Reduction of the Tuition Fee System

経済的理由などにより、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合、授業料の全額あるいは半額を免除する制度があります。また、教育研究の活性化を図る観点から、学習成果や課外活動等において卓越していると認められる学生に対する授業料の免除も実施しています。

For students who are bright but are not well off, we have a system of reducing their tuition fee in half or completely.

Also, in order to activate education and research at this college, we offer tuition waivers to students who are outstanding in their learning outcomes and extracurricular activities.

外部からの学生の受け入れ

Acceptance of Foreign Students and Transferees

平成31年4月1日現在
As of Apr. 1, 2019

(1) 外国人留学生及び編入学生 Foreign Students and Transferees

学 年 Year	学 科 Department	国 籍 Nationality	編入生 Transferees	
本 科 Course	3年 3rd	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.		
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.		
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture	セネガル 1 Senegal	
	4年 4rd	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.		
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.		
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture	カンボジア 1 Cambodia	1
	5年 5th	機械電気工学科 Mechanical and Electrical Eng.		1
		情報電子工学科 Computer Science and Electronic Eng.	マレーシア 1 (1) Malaysia	
		土木建築工学科 Civil Eng. and Architecture	モンゴル 1 Mongolia	
計 Total		4 (1)	2	

() は女子学生内数 Female Students

(2) 編入学生志願状況 Number of Applicants of Transfer

区分 Classification		学 科 Department	機械電気工学科 ME	情報電子工学科 IE	土木建築工学科 CA	計 Total
平成28 2016	志願者 Applicants		1	1	1	3
	入学者 Students Admitted			1		1
平成29 2017	志願者 Applicants		3 (2)			3 (2)
	入学者 Students Admitted		1			1
平成30 2018	志願者 Applicants		1			1
	入学者 Students Admitted		1			1
平成31 2019	志願者 Applicants		1		1	2
	入学者 Students Admitted				1	1

() は女子学生内数 Female Students

(3) 研究生及び聴講生制度 Research Students and Auditors

特定の研究あるいは専門事項の研究を希望する場合は、研究生として、また、一般科目及び専門科目の授業を聴講したい場合は、聴講生として入学を許可する制度があります。

本校は、高専における外国人留学生の受入制度が開始された初期段階よりその受入を積極的にを行い、これまでに、17ヶ国78名の卒業生（修了生）を送り出しております。（現在4名在籍中）

また、これら留学生の受入を契機として、国際化に対応できるコミュニケーション能力を育成する様々な取り組みを展開しています。

その主なものとしては、海外留学をはじめとして、海外語学研修（オーストラリア）、海外インターンシップ、海外研修旅行への派遣のほか、英検、TOEIC・IPテストの受験等に対する奨励制度の開設、常勤外国人教員による英語による講義の実施、更には、日常的な語学力の向上を目指した「英語による会話・交流の場（いんぐりっしゅ☆る〜む）」や「グローバルテラス」を開設するなど、国際感覚の醸成に全学的に取り組んでいます。

また、多くの海外教育機関と学術交流協定を締結しており、学生・教員交流の推進をめざしています。

We have been taking a positive attitude toward receiving students from abroad ever since the scheme for accepting overseas students to National Institute of Technology, Tokuyama College was inaugurated. Until now 78 students from fifteen countries have successfully completed the undergraduate or the advanced course. (At present 4 students are enrolled at our college.)

With acceptance of students from abroad, we have been making various attempts to cultivate students' language skills and international outlooks, both of which are essential for everyone who lives in this internationalized world as a citizen of the world.

We have been encouraging students who are willing to study abroad by providing financial support for them. Students can participate various kind of oversea programs such as Taiwan, Hong Kong, Singapore, China and Australia.

In addition, we have established the subsidy system for encouraging students to obtain English qualifications such as STEP, Technical English Test, and the TOEIC IP or SP Test.

Some of the technical subjects are now taught in English by a German full-time faculty teacher. We have also set up English-only chat rooms called 'English Room' in the center of Shunan City and 'Global Terrace' on campus. In these chat rooms every participant is supposed to speak only English. It is now customary for some citizens as well as our students to get together and chat in English at 'English Room' and 'Global Terrace'.

Also, we have concluded agreements with several foreign institutes to develop exchange programs for students and faculty members.

Based on these agreements, we encourage all the students and faculty members to join these foreign exchange programs.

平成30年度海外派遣実績

派遣プログラム outbound program	人数	期間
香港IVE Hong Kong IVE	7名	春・夏休み
シンガポール・ポリテクニク Singapore Polytechnic	4名	春休み
正修科技大学（台湾） Cheng Shiu University of Science and Technology	6名	春休み
オーストラリア語学研修 Langports English Language College Sydney	6名	夏休み

受け入れプログラム inbound program	人数	期間
香港IVE Hong Kong IVE	10名	8日間
台湾国立聯合大学 National United University	1名	13日間
シンガポール・ポリテクニク Singapore Polytechnic	10名	7日間

海外留学 studying abroad	人数	期間
ベルギー Belgium	1名	1年間
アメリカ America	1名	夏休み
シンガポール Singapore	1名	夏休み

海外協定校 partner institute
大連東軟信息学院（中国） Neusoft Institute of Information
正修科技大学（台湾） Cheng Shiu University of Science and Technology
キングモンクット工科大学トンブリ校（タイ） King Mongkut's University of Technology Thonburi
ウボン・ラーチャタニ・ラーチャパット大学（タイ） Ubon Ratchathani Rajabhat University
スラバヤ電子工学ポリテクニク（インドネシア） Electronic Engineering Polytechnic Institute of Surabaya
文藻外語大学（台湾） Wenzao Ursuline University of Languages



シンガポール研修プログラム



IVE研修生受け入れ

学内に鉄筋4階建ての学寮「高城寮」(男子定員120名、女子定員24名(外国人留学生を含む))があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を楽しむことができます。

入寮は書類(場合によっては面接)選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。専攻科の学生も入寮を希望することができますが、入寮を認められた場合、寮生活の全般にわたって本科の寮生と同じ学寮日課、学寮諸規則を守らなければなりません。

We have a dormitory "Takajo-Ryo" on the campus. It can accommodate 120 male students and 24 female students. It accepts students who want to be independent. Foreign students can also live in the dormitory.

Dormitory students can lead an orderly, enjoyable and full life, surrounded with excellent facilities and equipment. Since they don't have to spend time traveling to school, they have enough time not only to devote themselves to extracurricular activities but also to concentrate on studying in a nice, quiet environment.

If you want to live in the dormitory, you need to submit an application form. Based on the application form or on an interview in some cases, whether you are suitable as a dormitory student or not is judged.

Advanced-course students can also apply to be admitted as a dormitory student. They are admitted as long as they observe all the rules in the dormitory that regular-course students have to obey.

平成31年4月1日現在
As of Apr. 1, 2019

(1) 学科寮生 Regular-course students.

区 分	1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	計 Total
在学者数 Number of Students	136(38)	138(43)	128(33) < 1(0)>	125(25) < 1(0)>	123(32) < 2(1)>	650(171) < 4(1)>
入寮者数 Number of Boarders	26(4)	25(8)	32(4) < 1(0)>	31(3) < 1(0)>	18(6) < 2(1)>	132(25) < 4(1)>

() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(2) 専攻科寮生 Two-year advanced-course students.

区 分	1年 1st	2年 2nd	計 Total
在学者数 Number of Students	28(4)	10(0)	38(4)
入寮者数 Number of Boarders	1	0	1

() は女子学生内数 Female Students

(3) 学寮経費 Expenses

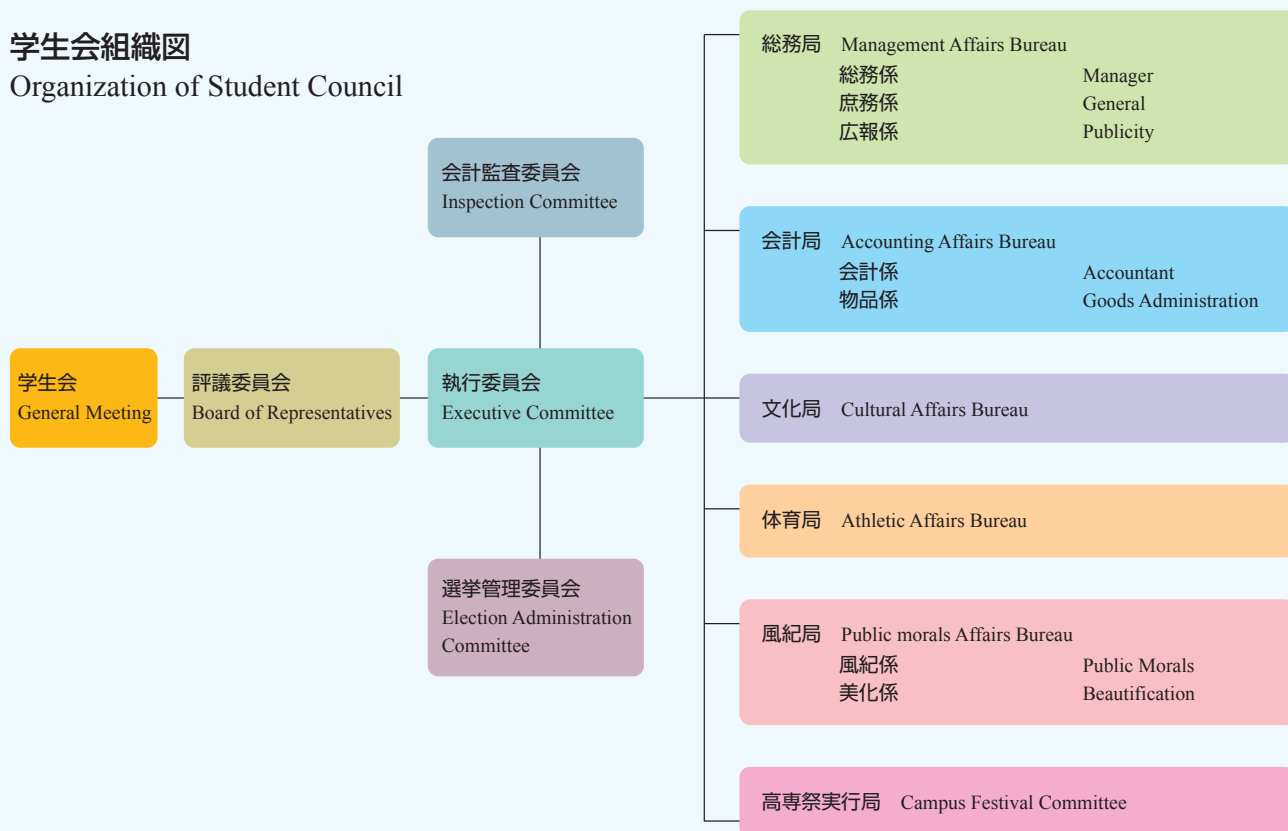
種 別	金 額
寄 宿 料(月額)	700円
寮 費(月額)	7,500円
食費材料費(1日)	742円
食費諸経費(月額)	14,220円
学寮運営費(入寮時)	1,000円
寮生会費(年額)	1,500円



高城寮の前景 Front View of Takajo-Ryo

学生会組織図

Organization of Student Council



中国地区高専ロボコン



中国地区高専体育大会



野球応援



高専祭

就職・進学状況

Employment and Entering to Universities

(1) 求人及び進路状況 (平成30年度) Job offers and Classification of Graduates (2018)

区分 Classification			卒業生数 Graduates		就職者 Applicants for Employment		進学者 Admission into univ.		その他 Number of the Others		求人数 Number of Job Offered		求人倍率 Rate of Post Offered	
学科 Department														
本科	機械電気工学科	ME	39	(3)	24	(2)	15	(1)	0	(0)	671	28.0		
	情報電子工学科	IE	35	(10)	23	(9)	12	(1)	0	(0)	588	25.6		
	土木建築工学科	CA	43	(17)	28	(10)	15	(7)	0	(0)	348	12.4		
専攻科	機械制御工学専攻	MC	3	(0)	1	(0)	2	(0)	0	(0)	542	542.0		
	情報電子工学専攻	CE	4	(0)	2	(0)	2	(0)	0	(0)	507	253.5		
	環境建設工学専攻	EC	10	(1)	7	(1)	3	(0)	0	(0)	279	39.9		
計			134	(31)	85	(22)	49	(9)	0	(0)	2,935	34.5		

() 内は女子学生内数 Female Students 外国人留学生を含む Including Foreign Students

(2) 就職先 (平成30年度) Employment (2018)

機械電気工学科	アド・ソアー、NOK (3名)、荏原製作所、三精テクノロジーズ、ジーエス・ユアサコーポレーション、水ing、武田薬品工業 光工場、千代田化工建設、東ソー 南陽事業所 (2名)、東ソー・ハイテック、東洋鋼鈑 (2名)、TOTO、パナソニック オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、パナソニック オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 車載エレクトロニクス事業部、日立ハイテクノロジーズ、ファナック、三菱電機 伊丹製作所 (2名)、メタウォーター (2名)
情報電子工学科	NTT東日本グループ、OSPグループ、オムロン、キャノンシステムアンドサポート、京セラコミュニケーションシステム、京セラドキュメントソリューションズジャパン、国際ソフトウェア、サントリープロダクツ 綾瀬工場、ダイキン工業、大晃機械工業、タイムインターメディア、中国電力、東ソー・ハイテック、東ソー情報システム (3名)、トクヤマ、パナソニック オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、パナソニック コネクティッドソリューションズ社、富士電機、マツダ、三菱電機 通信機製作所、国立印刷局
土木建築工学科	あおみ建設、エヌ・ティ・ティ・インフラネット、大林組、鹿島クレス、関西熱化学、五洋建設、シーエム・エンジニアリング、JXTGエネルギー 麻里布製油所、住友不動産、竹中工務店、中国建設弘済会、中国電力、東海旅客鉄道 (2名)、東京ガス、東京水道サービス、トクヤマ、西日本高速道路、日新製鋼 周南製鋼所、ベガハウス、前田道路 (2名)、みらい建設工業、安成工務店、国土交通省 中国地方整備局、岩国市、防府市、広島市
機械制御工学専攻	東ソー 南陽事業所
情報電子工学専攻	日立ハイテクノロジーズ、モノリスソフト
環境建設工学専攻	中電技術コンサルタント、徳本工務店、山口県 (2名)、岩国市、周南市、下松市

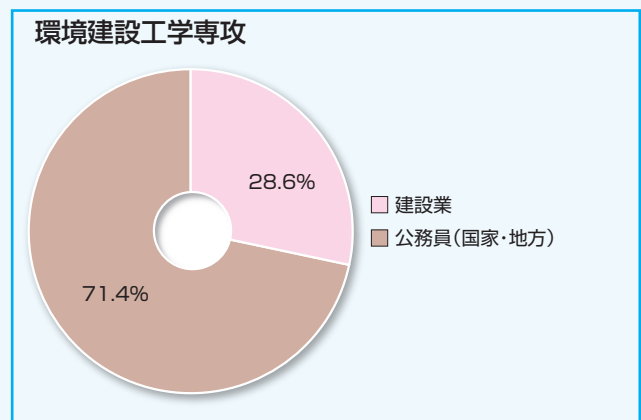
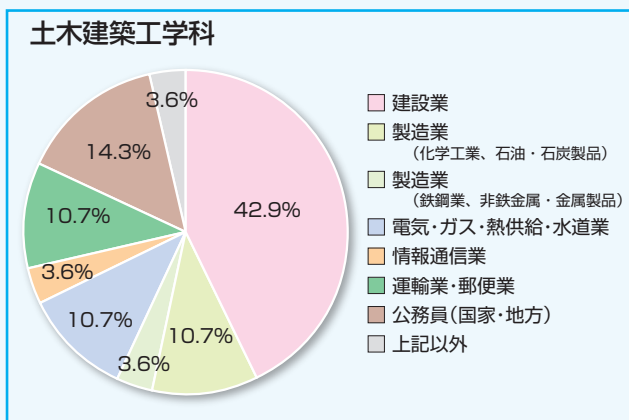
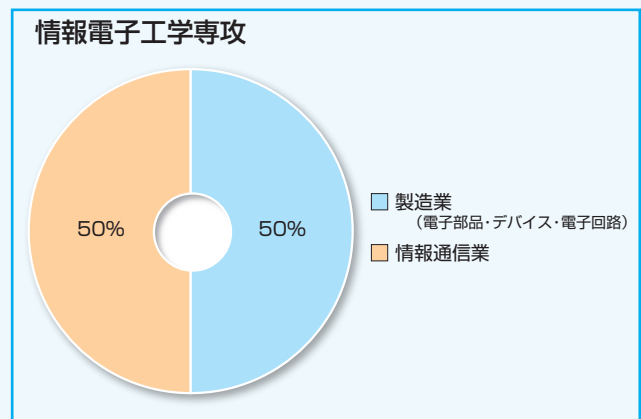
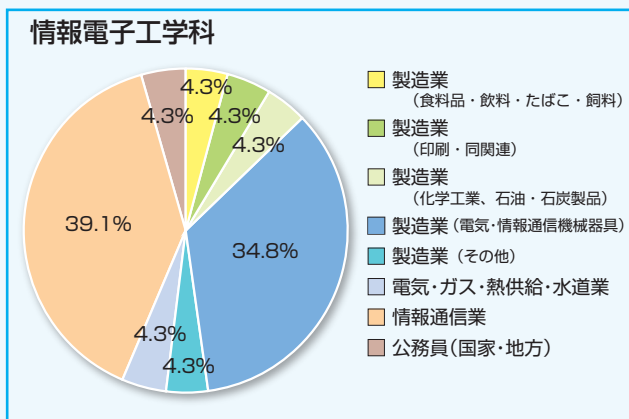
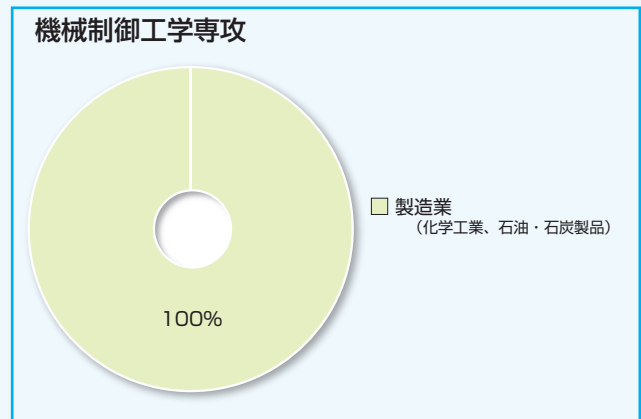
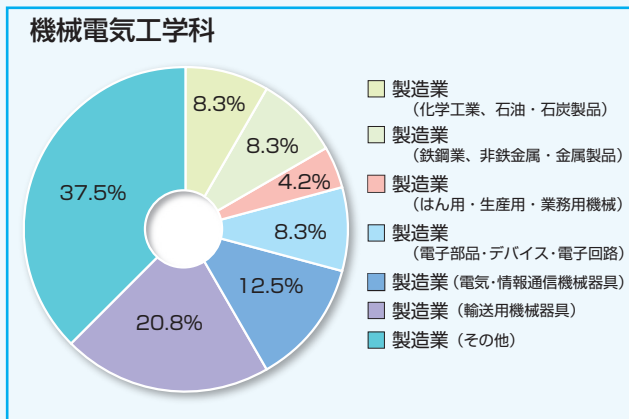
(3) 進学 (編入学) 状況 (平成30年度) Entrance to Universities (2018)

学科	本科			専攻科			計 Total
	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	機械制御	情報電子	環境建設	
大学・専攻科	ME	IE	CA	MC	CE	EC	
徳山工業高等専門学校専攻科	11		6 (4)				28 (4) <0>
東京大学	1						1 (0) <0>
千葉大学			1 <1>				1 (0) <1>
京都工芸繊維大学			1 (1)				1 (1) <0>
三重大学	1		1 <1>				2 (0) <1>
九州大学	1	1 (1)	1 (1)				3 (2) <0>
九州工業大学			1 (1)				1 (1) <0>
大分大学			1				1 (0) <0>
佐賀大学	1 (1)						1 (1) <0>
長岡技術科学大学			2				2 (0) <0>
豊橋技術科学大学			1				1 (0) <0>
早稲田大学大学院				1			1 (0) <0>
九州工業大学大学院				1			1 (0) <0>
筑波大学大学院					2		2 (0) <0>
九州大学大学院						2	2 (0) <0>
山口大学大学院						1	1 (0) <0>
計	15 (1) <0>	12 (1) <0>	15 (7) <2>	2 (0) <0>	2 (0) <0>	3 (0) <0>	49 (9) <2>

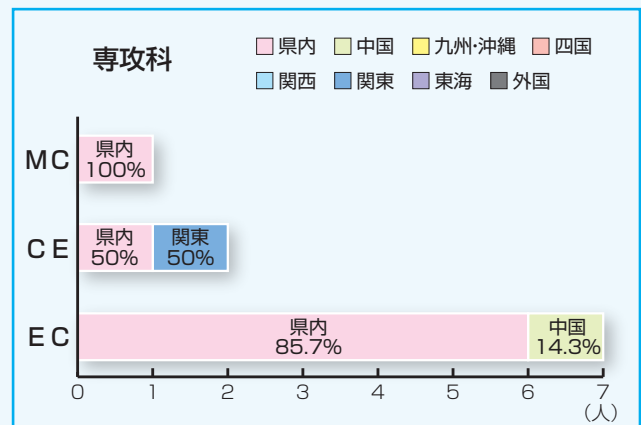
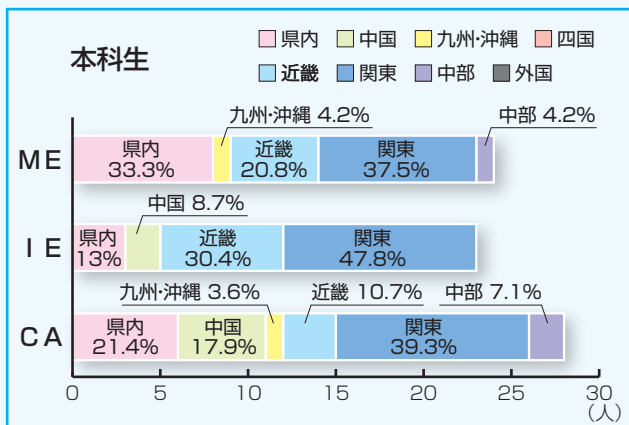
() は女子学生内数 Female Students < > は外国人留学生内数 Foreign Students

(4) 職種・就職先地域 Job Classification and The Area of the Employment

【職種】



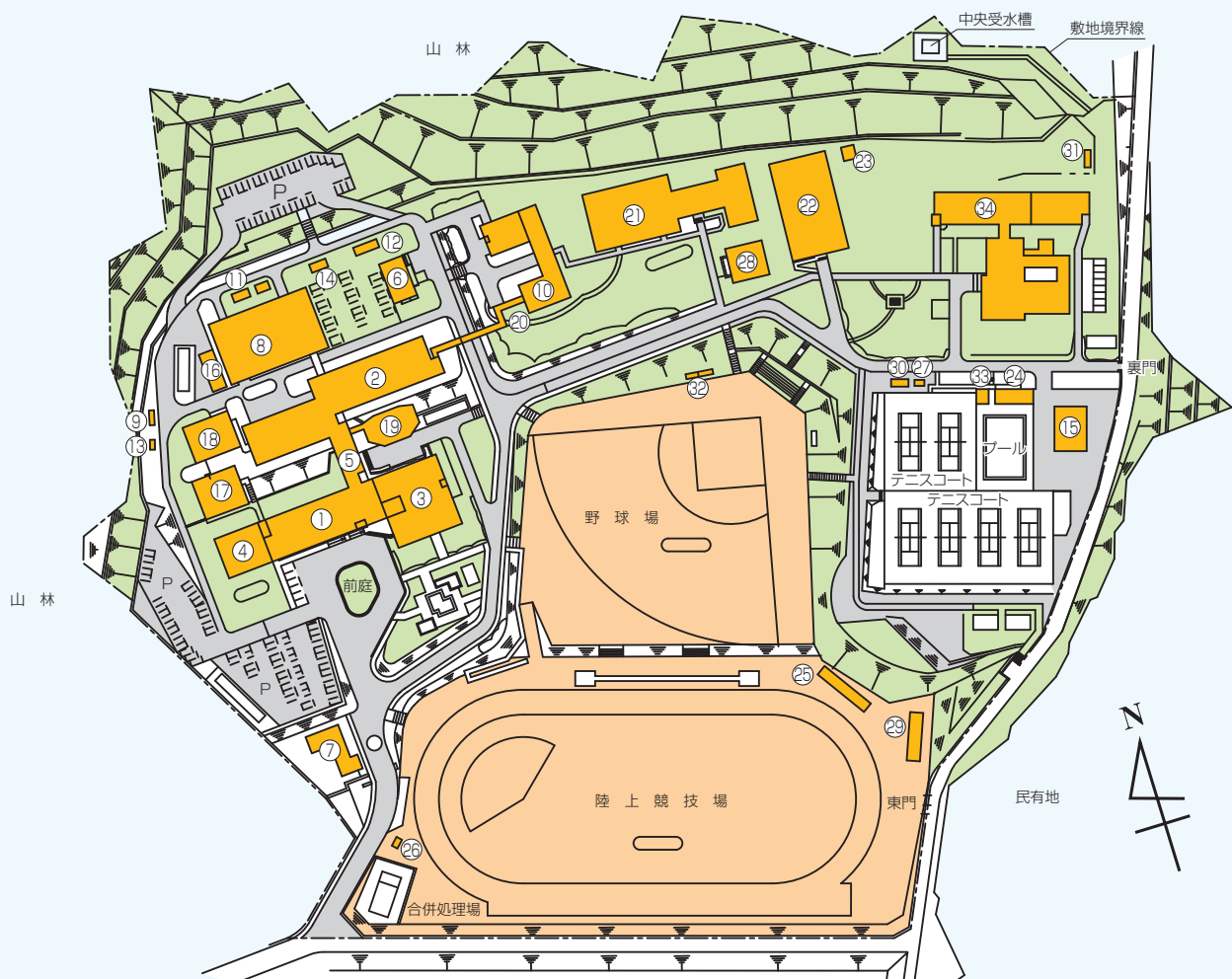
【就職先地域】



ME：機械電気工学科 IE：情報電子工学科
CA：土木建築工学科

MC：機械制御工学専攻 CE：情報電子工学専攻
EC：環境建設工学専攻

配置図 Campus Map



- | | | | |
|----------------------|--|--------------|---|
| 1. 教室・管理棟 | General Education and Administration Office Building | 18. 専攻科棟 | Advanced Course Building |
| 2. 専門科目棟 | Engineering Department Building | 19. メディアホール | Audio-visual Building |
| 3. 図書館 | Library | 20. 渡り廊下 | Roofed passage |
| 4. 情報処理センター | Information Processing Center | 21. 体育館・武道場 | Gymnasium (1st) and Budo Hall |
| 5. エレベーターA棟 | Elevator A | 22. 第2体育館 | Gymnasium (2nd) |
| 6. 実験実習棟 | Building for Practice and Experiments | 23. 第2体育館器具庫 | Warehouse Attached to the 2nd Gymnasium |
| 7. 車庫守衛所 | Garage and Guard Room | 24. プール附属屋 | Facility Attached to the Swimming Pool |
| 8. 実習棟 | Building for Experiments and Laboratory | 25. 体育器具庫 | Warehouse for sports goods |
| 9. 薬品庫 | Warehouse for Chemicals | 26. 屋外便所A | Toilet A |
| 10. 福利厚生センター | Welfare Facilities | 27. 屋外便所B | Toilet B |
| 11. 電子工作室 | Electrical Engineering Work Room | 28. 柔道場 | Judo Hall |
| 12. 物品庫 | Warehouse for goods | 29. 体育器具庫A | Warehouse for sports goods A |
| 13. 危険物貯蔵庫 | Storing Place for Dangerous Object | 30. 体育器具庫B | Warehouse for sports goods B |
| 14. 土石流実験室 | Laboratory for Avalanche of earth and rocks | 31. 洋弓の場 | Practice area for Archery |
| 15. 合宿研修施設 | Training Institute | 32. 野球場器具庫 | Warehouse for Baseball Goods |
| 16. 機材倉庫 | Warehouse for Materials | 33. プール女子更衣室 | Locker room |
| 17. テクノ・リフレッシュ教育センター | Center for Collaborative Research and Education | 34. 寄宿舍 | Dormitory |

施設の概況

Facility Information

(1) 建物 Building

区分	建物番号	名称	構造	建面積㎡	延面積㎡	備考
校舎等施設	1	教室・管理棟	R-4	1,194	3,871	S.50. 3.28
	2	専門科目棟		1,416	5,755	
		(専門科目棟)	R-4	(1,401)	(5,685)	S.51. 3.27
		(エレベーター-B棟)	S-5	(15)	(70)	H. 9. 3.28
	3	図書館	R-2	941	1,726	S.51. 3.27
	4	情報処理センター	R-1	305	305	S.51. 3.27
	5	エレベーター-A棟	S-5	14	82	H. 9. 3.28
	6	実験実習棟	R-1	193	193	S.50. 3.28
	7	車庫守衛所	R-1	131	131	S.51. 3.27
	8	実習棟	R-1	1,047	1,047	S.51. 3.27
	9	薬品庫	B-1	32	32	S.53. 2.10
	10	福利厚生センター		592	819	
		(学生食堂)	R-1	(204)	(204)	S.54. 3.26
		(学生食堂)	R-1	(4)	(4)	H.11. 3.30
		(福利施設)	R-2	(384)	(611)	S.57. 3.31
	11	電子工作室	S-1	44	44	S.55. 3.24
		課外活動工作室	S-1	32	32	H. 4. 4. 1
	12	物品庫	B-1	75	75	S.55. 1.30
	13	危険物貯蔵庫	B-1	15	15	S.56. 3.16
	14	土石流実験室	S-1	40	40	S.57. 3.31
15	合宿研修施設	R-1	205	205	S.58. 3.30	
16	機材倉庫	S-1	95	95	S.61. 3.28	
17	テクノ・リフレッシュ教育センター	R-2	303	738	H. 6.11. 4	
18	専攻科棟	R-3	385	873	H. 9. 3.28	
19	メディアホール	R-2	275	275	H.11. 7.30	
20	渡り廊下	S-1	157	134	H.13. 3.15	
	小計		7,491	16,487		

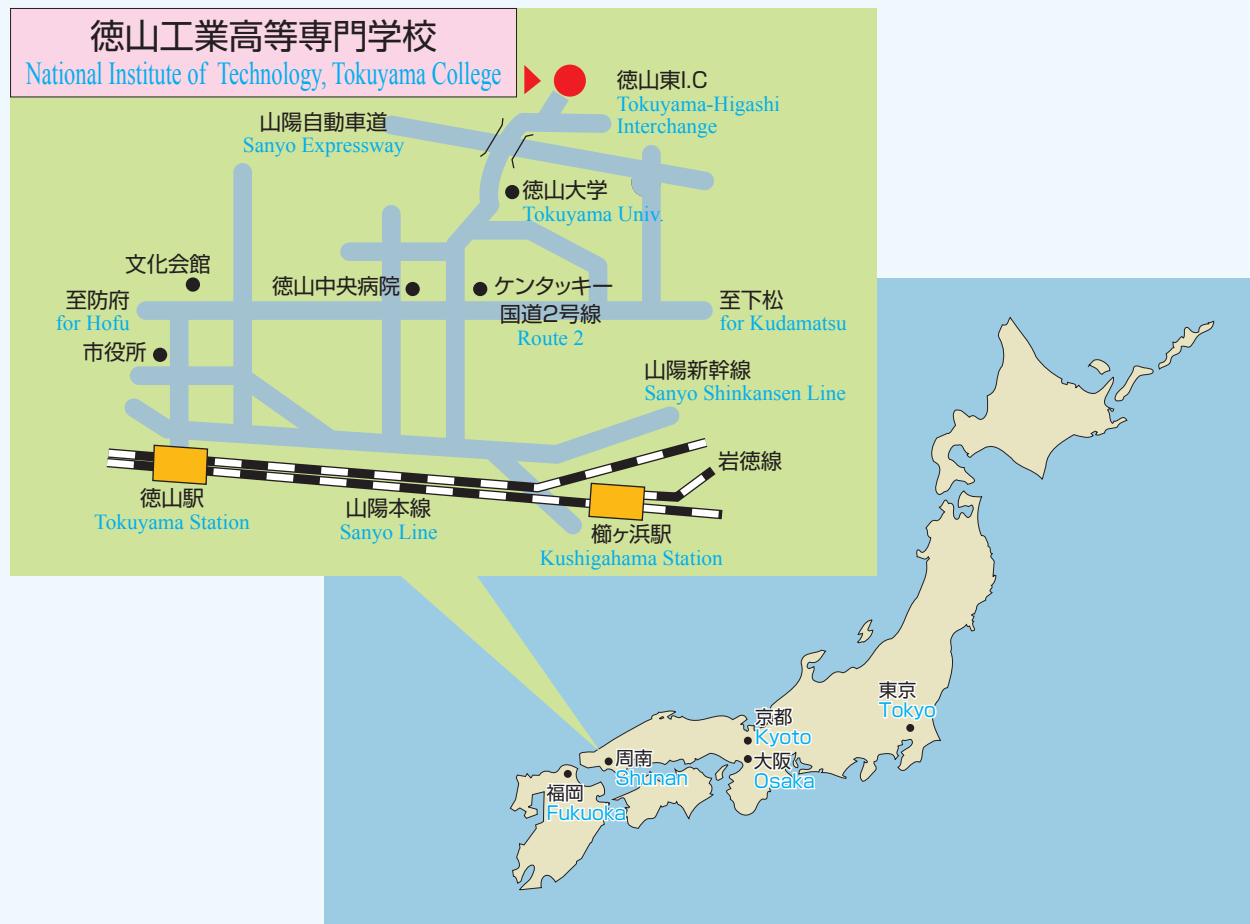
区分	建物番号	名称	構造	建面積㎡	延面積㎡	備考	
体育施設	21	体育館・武道場	R-1	1,228	1,228	S.50. 3.28	
	22	第2体育館	S-1	938	938	S.58. 3.29	
		(更衣室)	S-1	(58)	(58)	H. 4. 2.27	
		(体育館)	R-1	(880)	(880)	S.58. 3.29	
	23	第2体育館器具庫	R-1	30	30	S.60. 3.22	
	24	プール附属屋	B-1	99	99	S.51. 3.31	
	25	体育器具庫	B-1	110	110	S.53. 2.10	
	26	屋外便所A	B-1	10	10	S.54. 3.31	
	27	屋外便所B	B-1	10	10	S.54. 3.31	
	28	柔道場	S-1	213	213	S.57. 3.31	
	29	体育器具庫A	B-1	60	60	S.59. 3.24	
	30	体育器具庫B	B-1	24	24	S.59. 3.24	
	31	洋弓的場	S-1	17	17	S.62. 3.27	
	32	野球場器具庫	B-1	10	10	H. 7.11.30	
	33	プール女子更衣室	S-1	30	30	H.13. 3.28	
		小計		2,779	2,779		
	寄宿舎施設	34	寄宿舎		1,561	3,712	
			(共通スペース)	R-4	(0)	(589)	H.20. 3.31
			寄宿舎及び管理部	R-4	(1,202 6)	(2,087 6)	S.50. 3.28 H. 3. 3. 6
(寄宿舎)			R-4	(284)	(852)	S.52. 3.20	
(物干場)			S-1	(0)	(92)	S.53. 1.31	
寄宿舎(浴室)			R-1	(52)	(52)	H. 1. 3. 9	
女子寮(階段室)			R-2	(17)	(34)	H. 6. 3.25	
	小計		1,561	3,712			
	合計		11,831	22,978			

(2) 土地 Land

区分	校舎 体育施設 敷地	屋外運動場敷地			寄宿舎 敷地	その他	計
		陸上競技場	テニスコート	野球場			
面積	42,940㎡	23,639㎡	4,200㎡	15,802㎡	9,808㎡	27,811㎡	124,200㎡

学校所在地

Location Map



学校への交通機関

バス JR徳山駅前から防長交通バス「徳山高専」行に乗車、「高専正門」下車
「久米温泉口」行に乗車、「大学高専下」下車、徒歩10分

JR櫛ヶ浜駅前から防長交通バス「徳山高専」行に乗車、「高専正門」下車

自動車 山陽自動車道徳山東インターから約5分

タクシー JR徳山駅から約15分
JR櫛ヶ浜駅から約10分

By Railroad

Take the Sanyo Line or Sanyo Sinkansen Line and get off at Tokuyama Station.

Take a Bocho Bus bound for Kosen, it will take you directly to the school.

If you take a bus bound for Kume Onsenguchi, get off at Daigaku-Kosenshita bus stop and walk up the slope for ten minutes.

By Car

Take the Sanyo Expressway to exit No.37, Tokuyama-Higashi. It takes only five minutes from the exit to the school.

周南市の紹介

Guide to Shunan City



平成の大合併の中、平成15年4月、徳山・新南陽・熊毛・鹿野の2市2町が山口県内先駆けとなる合併を実現し、「周南市」が誕生しました。

周南市は、県東南部に位置する656.32km²のまちで、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を臨み、その海岸線に沿って、県経済を牽引する大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が続いています。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の広大な山稜には農山村地帯が散在しています。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。

また、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、周南市・徳山大学・徳山高専が連携協力に関する協定を平成18年度に締結し、「産業の振興」「教育・文化・スポーツの振興」「保健福祉の充実」「都市環境の向上」など、さまざまな協働事業を実施しています。

During the Great Heisei-Era Merger, in April 2003, Tokuyama City, Shinnanyo City, Kumage Town and Kano town merged to form Shunan City.

Our city is located in the southeast of Yamaguchi Pref., facing the Chugoku mountains to the north and Inland Sea to the south. Along the coast, there are a number of major industrial companies. Behind this industrial area the long narrow strip of the city center spreads from east to west. To the north of the city lie gentle hills and there are farming areas and mountain villages scattered behind vast ridges. In addition, the beautiful natural environment is surrounded by islands, which are designated as Setonaikai national park.

In 2007 Shunan city made an arrangement to collaborate with Tokuyama Kosen and Tokuyama University on making contributions to develop the community and nurture human resources. Together they have worked on a variety projects such as promotion of industry, promotion of education, culture, sports, health and improvement of city environment.

写真提供：周南市役所



本校の「設計情報工学」プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)からの認定を受けています。



COLLEGE OF TECHNOLOGY
ACCREDITED
Mar. 2013

本校は、平成24年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、認証評価基準を満たしていると認定されました。平成18年度に同機構による認証評価を得ており、引き続き認定されたものです。



大学教育再生加速プログラム

本学の申請が文部科学省の平成28年度大学教育再生加速プログラム(AP)「テーマV卒業時における質保証の取組の強化」に採択されました。

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Tokuyama College

発行 徳山工業高等専門学校 総合企画室
印刷 株式会社あかつき
所在地 〒745-8585 山口県周南市学園台
URL <http://www.tokuyama.ac.jp/>

National Institute of Technology, Tokuyama College

Address Gakuendai, Shunan City,
Yamaguchi Prefecture, Japan 745-8585

Telephone +81-834-29-6200

Facsimile +81-834-28-7605

代表 TEL(0834)29-6200 FAX(0834)28-7605
総務課 TEL(0834)29-6208 FAX(0834)28-7605
学生課 TEL(0834)29-6232 FAX(0834)29-6161
高城寮 TEL(0834)29-6236

令和元年5月